		冊	函	號
玫瑰珠（ろざりよ）	復興第一輯　久能木憤治編　大正一三	一	五〇八	二九
佛蘭西の心理解剖小說 思ひ出した事 ボオドレエルとモレアス ロベエル・ギカアルと其王朝 客（鷗塞）	（山田珠樹）（辰野隆）（譯詩譯詩）（鈴木信太郎）（辰野隆）			
盧山寺緣起	（續群書類從第二七輯ノ上釋家部ノ內 大正一四）	八〇	二二	
同		八〇	二二（イ）	
同	（大日本佛教全書第一一七册ノ內 大正二）	三五三	一〇	
魯山堂漫記（鞍馬―陪乘―）	小松光雄　大正一一	一〇	一二	五六九
盧山日誌	谷崎潤一郎（潤一郎傑作全集第五卷ノ內 大正一一）	五〇〇		四
露肆	泉鏡花（鏡花全集第八卷ノ內 大正一四）	五二〇		四四
露西亞	內藤民治（世界實觀第五卷） 大正五	一	四〇八	一二〇（ほ）
ロシア印象記	ブランデス著　中澤重雄譯　明治四五	一	五三三	一八
露西亞及露西亞人	八杉貞利（時事叢書第一六編） 大正三	一	三三三	二三〇
露西亞音樂年代記	リムスキイ・コルサコフ著　服部龍太郎譯　大正一五	一	三五五	一
露西亞革命實記	トロツキー著　茅原退二郎譯　大正九	一	五四七	一二〇
露西亞革命の意義	トルストイ著　宇佐美文藏譯（トルストイ全集第八卷ノ內 大正八）	一	三八四	一七〇
露西亞が讓歩するまで	堀江一正　大正一五	一	三九〇	三九
露西亞紀行	西田博太郎　大正五	一	五二四	二五五
露西亞共和國の國民教育	市川倫譯（露文飜譯勞農露國調查資料第六編） 大正一三	一	三六四	六
		一	四一五	一〇三

		冊	函	號
露西亞共和國の國民教育	鈴木尚三、市川倫譯（勞農露國研究叢書第五編ノ內 大正一五）	一	五〇八	二九
露西亞過激派に就て	布施勝治（京都經濟會講演集第七號ノ內 大正八）	三七三		五五
露西亞藝術	精藝社發行　第二卷第二至七號（大正一一年二至一〇月）〔第五號缺〕	一	八	七五（雜）
露西亞現代作家叢書	佐藤出版部發行　大正九、一〇	三	三七五	四三
第一卷	チエホフ選集（チエホフ著　工藤信譯）			
第二卷	ゴーリキイ選集（ゴーリキイ著　重宗務譯）			
第四卷	アンドレエフ選集（アンドレエフ著　宮原晃一郎譯）			
露西亞現代文豪傑作集	昇曙夢譯　大正九至一一	六	三八九	三九
第一編	アンドレーエフ傑作集			
第二編	クープリン・アルツイバーシェフ傑作集			
第三編	ザイツエフ・ソログーブ傑作集			
第四編	ゴーリキイ傑作集			
第五編	チエーホフ傑作集			
第六編	現代露國詩人傑作集			
露西亞見聞談	今井時郎（社會問題十五講ノ內 大正一二）	五〇二		二四〇
露西亞語學階梯	八杉貞利編　大正五	一	三三三	一五七
同　改訂	大正一四	一	三三三	一五七（イ）
露西亞語研究（獨習）	清水安次郎　大正四	一	七一	五五四
露西亞語書簡文	第一、二卷　トドロウイチ　大正一〇	二	三三三	三八一
露西亞古典叢書	三田書店發行　大正一三	一	五二七	四四
第一編	喜智のための悲哀（グリボイエードフ著　八杉貞利譯）			
露西亞語文法（新文字法）	八杉貞利編　大正一一	一	三三三	四一七
露西亞史實拷問と虐殺	遠藤友四郎　大正一二	一	五一四	一〇二

		冊	函	號
露西亞事情	龜山一二（贊察教養資料第四編） 大正一四	一	三九三	七七五
露西亞時代の大連	上田恭輔（鐵肪集第四編） 大正七	一	三五	二六一
露西亞 西伯利 ほろ馬車巡禮	大泉黑石　大正八	一	三八四	五八
露西亞社會史	第一卷　佐野學　大正一四	一	五四六	七八
露西亞社會主義聯邦「ソウエート」共和國民法	太田某譯　大正一二（哈調資料第一號）	一	一四五	八五
露西亞承認論	中野正剛　大正一二　二一頁	一	三九七	四七一
露西亞承認論	三宅雄二郎、澤柳政太郎　大正一二　二五頁	一	三九七	四七三
露西亞人と人種平等	チエレフコフ　大正八　一四頁	一	三八八	一六三
露西亞生活（世界一の謎）	山田枯柳編　大正六	一	三六三	一七三
露西亞製鐵業	岡上守道（世界製鐵業第四編） 大正八	一	三三一	一三七
ロシア小學讀本	第一至八學年　吉田熏譯　大正一四	八	二九（五）	七四
露西亞大革命史	ウイリアムス著　梅原北明等譯　大正一四	一	五三一	一二六
露西亞帝國	坂本健一　大正六（通俗世界歷史第三編）	一	三五三	一三
露西亞の社會	今井政吉（社會講座第三卷） 大正一一	一	五一五	五
露西亞の眞相	戶泉憲涙　大正一三　五六頁	一	三九三	六〇四
露西亞の戰線より	大庭景秋　大正四	一	三六〇	三一九
露西亞の年越	小山內熏（三田文選ノ內 大正八）	一	三九一	二九一
同		一	三九一	二九一（イ）
露西亞の見方	茂森唯士　大正一四（國際智識大系第八編）	一	五三九	一三
露西亞秘話 闇を行く人	大泉黑石　大正八	一	三九一	二四
露西亞舞踊	大田黑元雄　大正一五	一	五六二	六
露西亞舞踊	エレン・テリイ著　永田龍雄譯　大正一四	一	五四〇	三
露西亞舞踊大觀	三島章道等譯　大正一一	一	五一三	三五
露西亞文學印象記	ブランデス著　瀨戶義直譯　大正三	一	三五七	一二〇
露西亞文學講話	昇曙夢（新文學百科精講ノ內 大正六）	三二八		三七〇（イ）
露西亞文學史	大泉黑石　大正一一	一	三二九	三〇九

ロシアに於ける一九二四年の本位改革　宮田喜代藏（商業經濟論叢第三卷ノ內 大正一五）　一　五二四　三三

露西亞に於ける外國資本　外務省情報部編　大正一二　三八頁　一　五〇一　二六六

露西亞二十一人集　菊池仁康譯　大正一一　五一四頁　一　三五　二六〇

露西亞の革命と文學　仲田勝之助（生活と藝術叢書第九編） 大正五　一四五　一

露西亞の國民性に就きて　八杉貞利（明治聖德記念學會紀要第五卷ノ內 大正五）　一　五一五　五

露西亞の眞相　戶泉憲涙　大正一三　五六頁　一　三九三　六〇四

露西亞の戰線より　大庭景秋　大正四　一　三六〇　三一九

露西亞の年越　小山內熏（三田文選ノ內 大正八）　一　三九一　二九一

同　一　三九一　二九一（イ）

露西亞の見方　茂森唯士　大正一四（國際智識大系第八編）　一　五三九　一三

露西亞秘話 闇を行く人　大泉黑石　大正八　一　三九一　二四

露西亞舞踊　大田黑元雄　大正一五　一　五六二　六

露西亞舞踊　エレン・テリイ著　永田龍雄譯　大正一四　一　五四〇　三

露西亞舞踊大觀　三島章道等譯　大正一一　一　五一三　三五

露西亞文學印象記　ブランデス著　瀨戶義直譯　大正三　一　三五七　一二〇

露西亞文學講話　昇曙夢（新文學百科精講ノ內 大正六）　三二八　三七〇（イ）

露西亞文學史　大泉黑石　大正一一　一　三二九　三〇九

ロシア

ロシアに入る　荒畑寒村（勝三）　大正一三　一　五三三　二六

	冊	函	號
露西亞文學の理想と現實　クロポトキン著　馬場孤蝶等譯　大正一一　五〇八頁	一	三九一	二三イ
露西亞文藝の主潮　クロポートキン著　田中純譯　大正六	一	三六四	二一七
露西亞文法　グレーボーフ編　岩澤丙吉譯　大正六	一	三三三	一五三
ろしあ民謠集　昇曙夢譯編　大正九（露國民衆文學全書第四編）	一	三七五	二四
露西亞民族の新研究　（日露同種論）　滝野利三郎　大正一三	一	五一九	一一五
同	一	五一九	二一五イ
露西亞物語　太田覺眠　大正一四	一	五三三	二四七
露西亞問題　東京市役所編　大正一四（東京市公刊圖書第一〇號）	一	一四五	二三四
ろしあ俚諺集　昇曙夢譯編　大正九（露國民衆文學全書第五編）	一	三七五	二四
鷲洲隨筆　小林鷲洲　大正一一	一	一六〇	九七
露支協約ニ對スル意見　對支聯合會編　大正二	一	三四四	三三三
露支國境考　支、白鼓著　濱岡福松譯（哈調資料第五二號）　大正一五	一	一四五	八五
露支國境圖　縮尺四百二十萬分之一　大正一五	一枚	三二六	三七一
呂氏春秋　大正一二（漢文叢書第一一）	一	三七五	四三
同　藤田劍峯譯註　三版　大正一四（國譯漢文大成經子史部第二〇卷）	一	三九九	二イ
露支人に伍して　寺尾幸夫　大正一五	一	五五六	五一
瀘紙製造試驗　森嘉吉（東京工業試驗所報告第一〇回ノ內　大正五）	一	一四二イ	一一七
露支問題　クロパトキン著　安藤麟三譯　大正二	一	三五〇	一九五
芦城圖案作品集　松尾芦城編　大正一三	一	五〇九	一〇九
路上の人々へ　大石隆基　大正一二	一	五〇七	三七
ロシヤ音樂小史　アルシュール・プーザン著　湯淺永年譯　大正一一	一	三六四	二一七
ロシヤ革命運動史　山內封介　大正一五	三	五四六	一〇七
第一輯　農民と勞働者の盲動叛亂時代並に大ブルヂュア智識階級の覺醒時代			
第二輯　小ブルヂュア智識階級の革命運動時代			
第五輯　各階級の包圍攻撃時代			
ロシヤ革命家の生活論　トロツキー著　西村二郎譯　大正一四	一	五三五	二〇三
ロシヤ共產黨及び勞農政府の支那赤化對策に就て　久保田榮吉　大正一五　六六頁	一	五三四	四四九
ロシヤ研究　春陽堂發行　第一卷第一至四號（大正一二年四至七月）	一	雜五四	九三
ろしや童話集　永橋卓介編　大正一四（世界童話叢書第三編）	一	五三八	一二四
ロシヤノイロハ　（ルスカヤアズブカ）　稀書複製會編　大正一四（複製）	一〇	一五五	四五〇
ロシヤの現實　片上伸　大正八	一	三六四	五七
ロシヤの婦人　ネクラーソフ著　深見尚行譯　大正一四	一	五二八	二一八
ロシヤ批評研究序論　片上伸（外國文學研究第一輯ノ內　大正一二）	一〇	三三九	三三四
魯春秋　淸、査繼佐（適園叢書第四册）	一〇	一七五	六九
呂昇　豐竹呂昇　大正一三	一	五二九	一四〇
露人の滿洲分割論　對支聯合會編　大正三	一	三四四	四三三
其一　滿洲分割急務論			
其二　滿洲分割急務論			
ロスケ小屋　岩野泡鳴（泡鳴全集第一一卷ノ內　大正一〇）	一	五〇〇	一
露助の我慢　長谷川如是閑（長谷川如是閑創作集第二編ノ內　大正一三）	一	五二七	一八

	冊	函	號
露助の妻　二葉亭四迷（二葉亭全集第三卷ノ內　明治四五）	一	三九	四六
ロスメルスホルム　イブセン著　楠山正雄譯（近代劇大系第二卷北歐篇二ノ內　大正一二）	一	五一五	二六イ
同（近代劇大系第二卷北歐篇二ノ內　大正一四）	一	五一五	二六イ
同　イブセン著　坪內士行、島村民藏譯　大正五	一	三五七	一四三
魯西整儀寫眞鑑（嘉永六年魯國ノ兵艦長崎入港當時ノ錦繪）	特七	枚四一六	七
路政論　クールセル・エフ・ブロンス并ック著　若林榮次郎譯　大正三	一	三五六	四四
ロゼツタ　パンツイニ著　佐藤雪夫譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內　大正一五）		五二〇	四五
ロゼツチ詩集　ロゼツチ著　渡邊康夫譯　大正一四（泰西詩人叢書第一四編）	一	二八九	八七
ロセツテイの藝術　高橋泰（英文學研究第二册ノ內　大正一〇）		三九〇	二四
同（英文學研究第二册ノ內　再版　大正一一）		三九〇	二四イ
贈露川狀　各務支考著　天青堂編輯部校（古佚書文庫第一四篇ノ內　大正一四）		五一五	一一九
ロダン以後　藏田周忠　大正一五		五四七	二三五
ロダン研究　佐久間政一　大正一三		五一三	二七二
ロダンの藝術觀　ポール・グゼル著　木村莊八譯　大正三	一	三五〇	二三六
ロダンの言葉　高村光太郎　大正五	一	三六一	二四
ロダンの生涯と藝術　カミイユ・モークレール著　渡邊吉治譯　大正六	一	三六三	九九
ロダンの方法　モウパッサン著　安成四郎譯（モウパッサン全集第一一卷ノ內　大正一〇）		三九〇	四一
ロチデール消費組合の先驅者　ホリヨーク著　近藤康男譯（產業組合調查資料第八）　大正一四	一	一四二イ	五三
同	一	一四二	五三イ
露地のほそみち　竹久夢二　大正一五	一	五一七	五六
「ロックフエラー」支那ニ於ケル醫學事業基金及布教團體ノ支那ニ於ケル醫學事業　唯根伊與譯（交涉資料第一六編）　大正五	一	三二六	六〇
ロッツエ　京都哲學會編　大正六	一	三五六	二九六
ロッツエの史的位置（朝永三十郎）　ロッツエの心理學の半面觀（野上俊夫）　ロッツエの形而上學（西田幾多郎）　ロッツエの倫理學（藤井健治郎）　ロッツエの美學（深田康算）　ロッツエの社會學的思想の批評的考察（米田庄太郎）	一	二五九	四一
蘆笛集　小瀨松次郎　大正八（成蹊叢書第三編）	一	二五九	二八二
露天學校（歐米に於ける最近教育施設）　エイヤース著　青池半治郎譯　大正二	一	八九	三五三
露獨壕戰場圖　石井良次郎編　大正四			
露獨及芬獨講和條約ニ關スル獨逸帝國議會ノ討議　外務省臨時調查部編			
露獨通商條約史　ソボレフ著　日露協會譯（露國通商條約調查資料ノ內）　大正六	一	三二六	二八二
露獨の來襲　原田政右衞門　大正四	一	三二九	二四四
路傍の花　德田秋聲　大正八	一	三七七	一六五
驢馬の皮　ペロール著　楠山正雄譯（世界童話名作集第一編）　大正九	一	三五五	九五
ロビンソン・クルウソウ　ダニエル・デフオ著　福光美規譯（世界少年文學選第一編）　大正一〇	一	二九九	六七

魯敏遜漂行紀略　横山由淸譯　大正一四(複製)　一〇　一九九　二五八イ

ロビンソン漂流記(少年讀物―)　葉多默太郎　大正一三(日本兒童文庫第一三)　一　五一五　九七

露風詩話　三木露風　大正四　一　三五七　七六

同　大正一五　一　五一七　五四六

ロブスター珈琲　佐藤暲　大正一〇(南洋研究叢書第一篇)　一　五〇〇　三

魯文珍報　第一至三四號　和同開珍社發行　明治一〇至一二　五〇　六七　三六五

露文飜譯調査資料　南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課編　大正一二至一四　一〇　一四、五　八一

第一號　亞細亞露西亞の國土と産業　上、下卷　(古澤敏太郎等譯)
第二號　北滿洲と東支鐵道　下卷　(南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課譯)
號外の一　勞農露西亞の産業狀態と外國貿易の前途　(アルスキー著　北川勝夫譯)
官邊の資料に據る現代露國の經濟財政狀態　(ラケトフ著　九谷常恩、古澤敏太郎譯)
第三號　國際市場に於ける露國のコオペレーション　(ゲ・ゲ・シュキタウ著　太田三孝譯)
第四號　滿洲の森林　(ウエ・ア・イワシュケーキッチ著　太田三孝譯)
第五號　黑龍江系水路誌　上、下卷　(チュビンスキイ編　古澤敏太郎譯)
第六號　黑龍江及其支流の航運　上卷　(チュビンスキー編　山下義雄譯)
第七號　黑龍江省　上、下卷　(ペ・エヌ・メンシコフ著　高橋克己譯)
第八號　極東露國に於ける黃色人種問題　(ウエ・グラーウエ著　太田三孝譯)
第九號　亞細亞露西亞の住民　(古澤敏太郎等譯)
第一〇號　亞細亞露西亞の交通　(古澤敏太郎、高橋克己譯)
第一一號　露領黑龍州の畜業　(ア・ヤ・レムペルト著　山下義雄譯)

露文飜譯勞農露國調査資料　南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課編　大正一三至一五　五　一四、五　一〇二

第一編　勞農露國の社會保險　(バエフスキー著　芝田五郎譯)　附 ソヴエート社會保險實施の第一年
第二編　露國の國營事業　(太田三孝、佐藤有二譯)
第三編　革命後の露國農村經濟狀態　(市川倫譯)　附 一九二三、二四兩年度に於ける農業　(戸泉憲溟譯)
第四編　露國の農村經濟統計　(クレピコフ編　柳澤新一郎譯)
第五編　露國共産黨研究資料　(鈴木尙三等譯)
第六編　露西亞共和國の國民教育　(市川倫譯)
第七至一二編　露國の統治組織及機關　第一至六卷　(高橋克己等譯)
第一三編　露國に於ける勞働需給關係　(ミンツ編　戸泉憲溟、小山猛男譯)
第一四編　勞農露國に於ける民族問題　(レーニン著　鈴木尙三、戸泉憲溟譯)
第一五編　露國の工業組織　(小山猛男譯)
同附錄　勞農露國のトラスト模範定款　(山下義雄譯)
第一六編　勞農露國に於ける外國人の法律的地位　(レーキン著　內山彼得譯)
第一七編　露國に於ける私營事業及私有財産權　(內山彼得、佐藤有二譯)
第一八編　勞農露國の軍事　(鈴木尙三、佐藤有二譯)　附 赤軍建設事業　(トロツキー著　戸泉憲溟、市川倫譯)
第一九編　露國の統治組織及機關　第七卷　(カガノーキッチ著　鈴木尙三、佐藤有二譯)
第二〇編　露國の各聯盟共和國概要　(高橋克己譯)
第二一編　露國の自治共和國及自治州　(同)
第二二編　勞農國家と教會　(小山猛男譯)
第二三、二四編　露國工業法概要　上、下　(內山彼得譯)
第二五編　露國工業經濟に關する指導的意見　(トロツキー著　鈴木尙三譯)
同附錄　露國共産黨第十二回大會決議　(工業に關する決議)　(鈴木尙三譯)
第二六、二七編　露領極東及西比利の經濟事情　上、下　(高橋克己、市川倫譯)
第二八編　露國の工場委員會　(小山猛男譯)
第二九、三〇編　勞農露國の言論機關　上、下　(內山彼得、小山猛男譯)
第三一、三二編　ソヴエート及執行委員會　上、下　(鈴木尙三譯)
第三三、三四編　ソヴエート聯邦通商事情　上、下　(小山猛男譯)
第三五編　ソヴエート聯邦外國貿易の制度及組織　(田中有年編)
第三六編　ソヴエート聯邦の輸出採算に關して　(田中有年譯)
新經濟政策期に於ける消費組合　(戸泉憲溟、佐藤通男譯)

露米關係の親睦發展に關する決議報告書　日露協會譯　大正七　(「米國對露國市場の將來と之に關する問題」ト合綴)　一　三二六　三四四

ロベェル・ギカアルと其王朝　園伊能　大正一三(玫瑰珠復興第一輯ノ內)　一　五〇八　二九

爐邊　安中花子譯　大正六　一　三七七　二六

爐邊經濟論　細貝正邦　大正九、一三　二　五〇〇　一一
第一輯　經濟の輪廻
第二輯　無限の可能

爐邊叢書　鄕土研究社發行　大正九至一五　二三　三八九　二一
第一編　赤子塚の話　(柳田國男)
第二編　おとら狐の話　(柳田國男、早川孝太郎)
第三編　奧州のザシキワラシの話　(佐々木喜善)
第四編　神を助けた話　(柳田國男)
第五編　飛驒の鳥　(川口孫治郎)
第六編　三州橫山話　(早川孝太郎)
第七編　古琉球の政治　(伊波普猷)
第八編　鄕土誌論　(柳田國男編)
第九編　南島說話　(佐喜眞興英)
第一〇編　小谷口碑集　(小池直太郎編)
第一一編　江刺郡昔話　(佐々木喜善)
第一二編　祭禮と世間　(柳田國男)
第一三編　續飛驒の鳥　(川口孫治郎)
第一四編　相州內鄕村話　(鈴木重光編)
第一五編　土佐風俗と傳說　(寺石正路)
第一六編　八重山島民謠誌　(喜舍場永珣)
第一九編　琉球人名考　附 位階制度　(東恩納寬惇)
第二〇編　シマの話　(佐喜眞興英)
第二一編　越後三條南鄕談　(外山曆郞)
第二二編　東石見田唄集　(三上永人編)
第二三編　牟婁口碑集　(雜賀貞次郎編)
第二九編　チャモロ語の研究　(松岡靜雄)
第三〇編　甲斐の落葉　(山中笑)

爐邊獨語(報德仕法―)　金井利太郎(北遠)　大正二　一　三四四　三二一

ロマ書餘師　附 ガラテヤ書エペソ書餘師　山室軍平　大正二　一　五〇四　一四一

ロマンチク時代　太宰施門　大正一四　一　五五一　二〇

ロマン・ローラン　ステファン・ツワイグ著　服部龍太郎譯　大正一五　一　五五一　一〇

ロマン・ローラン全集　ロマン・ローラン　大正九、一〇　三　三九〇　五〇
第一卷　信仰の悲劇　(新城和一譯)　リルリ　(植村宗一譯)
第二卷　民衆劇論　(木村莊太譯)　七月十四日　(同)　ダントン　(同)　ミレー　(同)
第三卷　現代の音樂家　(同)　ベートーヴェン　(同)　戰を超絕して　(同)

ロマン・ロオランの思想と藝術　內藤濯　大正四(近代思潮叢書第七編)　一　七一　四八二

ロミオとジュリエット　シエクスピーア著　久米正雄譯　大正一一(泰西戲曲選集第一編)　一　三八九　八三

同　シエークスピヤ著　坪內逍遙譯　一二版　大正一三(沙翁傑作集第二編)　一　五二三　一七六

ロミオとジュリエット(文藝座―臺本)　シエクスピア著　林和改修　大正七　一　三七七　一一七

ロムボク海峽諸港泊地　水路部製　大正六　一・六×二・一　一枚　洋　一九九

ロメオ、エンド、チュリエットの悲劇　シエークスピヤ著　戸澤正保、淺野和三郎譯　四版　明治三九(沙翁全集第二卷)　一　七八　六九ハ

ロメオとユリア　ケラー著　上村淸延譯　大正一一(郁文堂對譯叢書第一編)　一　三三三　四六四

		冊	函	號
蘆噜經	羽溪了諦、甲斐寶行譯（現代意譯根本佛教聖典叢書第一〇卷ノ内 大正一三）		五一五	一〇四
露領烏蘇里地方	南滿洲鐵道株式會社總務部交涉局譯 大正四（交涉資料第一四編）	一	三一六	六〇
露領浦潮斯德港視察錄	野村喜一郎（石川縣勸業報告第一號ノ内 明治四五）	一四、二	イ	一
同	（對岸ノ貿易ノ内 大正元）		三四二	二九六
露領アメリカ灣沿海州	水路部製 大正三 一・五×二・二	一	枚	露 二八 イ
露領オホック海諸港沿海州	水路部製 大正一〇 一・五×二・一	一	枚	露 六三
露領沿海州產からまつ材强弱試驗	森三郎、三溝鎭ノ内 大正一〇（農商務省）林業試驗彙報第五號	一四二	イ	一三五 ロ
露領沿海州諸分圖	第一 水路部製 大正三 一・六×二・一	一	枚	露 六〇
露領沿海州水路誌	水路部編 大正元	一	水 七ロ	
同	大正八	一	水 七ハ	
露領沿海州水路誌追補	第一 水路部編 大正一二	二	水 七ニ	
露領沿海州に於ける白楊丸太と我國燐寸業の將來	中野治朗（海外旅行調查報告大正八年夏期ノ内 大正九）	三六		三五七
露領沿海州間宮海峽（韃靼海峽）及黑龍江口	水路部製 大正四 三・一×二・〇	一	枚	露 四ニ
露領沿海州間宮海峽及黑龍江口	水路部製 大正五 三・二×二・〇	一	枚	露 四ホ
露領沿海地方及北樺太	第一輯 小林九郎（南滿洲鐵道株式會社）調查報告書第一二卷） 大正一三	一四、五		一九

		冊	函	號
露領沿海地方及接壤地方圖	南滿洲鐵道株式會社社長室調查課製 大正一二 三・三×二・二	一	枚	八九 三〇一
露領沿岸租借漁區配置圖	大正九年度 農商務省水產局編 大正九	一	枚	八九 二七六
露領沿岸邦人租借漁區圖	大正一三、一五年度 農商務省水產局製 大正一三、一五	二	枚	三三七 三五〇
露領樺太五十萬分一地質圖說明書	附圖 清水三郎編 大正一四	一		五四〇 八一
露領樺太視記	入江貫一 大正九	一		三八八 三四三
露領極東及西比利の經濟事情	上、下（高橋克巳、市川倫譯）（勞農露國研究叢書第三編ノ内 大正一四）	五〇八		三四
同	高橋克巳、市川倫譯（露文飜譯勞農露國調查資料第二六、二七編） 大正一四	二		一四五 一〇二
露領極東の農業と植民問題	シリケーキッチ著 內山彼得譯（露亞經濟調查叢書第二編） 大正一五	一		五五五 一一
露領漁業關係統計	農商務省水產局編 大正七	一		三六八 二八
露領漁業關係法規	農商務省水產局編 大正一〇	一		一四七 二〇〇
露領漁業調查書	第三卷第一至四册 農商務省水產局編 大正一一	四		一四二 イ 五一二
露領黑龍州の畜業	レムベルト著 山下義雄譯（露文飜譯調查資料第一一號） 大正一四	一		一四五 八一
露領事情	山口留太郎（海外移住ノ内 大正一二）			五二 二〇二
露領ショーウフ灣	水路部製 大正一〇 一・五×二・一	一	枚	露 七イ
論學三百絕	三島毅 大正三	一		二〇二 三二六
ロングフエロウ詩集	ロングフエロウ著 松山敏譯 大正一四（世界名詩選第八）	一		五一六 三〇八
ロングフエロー及彼の詩	ボルトン著 伊藤宗輔譯 大正一五	一		五五〇 一〇三
論畫詩	浦上春琴（日本畫談大觀上編畫論ノ内 大正六）	三五六		三一六
論畫絕句	薄井龍之 大正元 一九頁	一〇		二四九 一〇八
論畫竹偶筆	土井聲牙（日本畫談大觀上編畫論ノ内 大正六）			二五六 三一六
論畫竹偶筆	土井聲牙著 伊東茂右衞門補 大正五	一〇		六七 三六九
論語	嘉永元〔釋深尊ノ批點シタル古寫本ヲ刊行セルナリ〕	特 二〇		二〇五 二三七
論語	何晏集解 寫本			二〇 せ 八三
論語（現代語譯）	小野機太郎譯（支那哲學叢書第三）再版 大正一五	一		五四八 三三
（袖珍）論語	山本邦彥編 大正一一	一		五一六 四六
論語（新釋日修）	槻康郎 大正一〇	一		三八七 二四三
論語（新釋日修）	皆川愿（淇園）一〇卷論語部三ノ内 大正一一（日本名家四書註釋全書）			五〇八 三
論語釋解	皆川愿（淇園）論語部五ノ内 大正一五（日本名家四書註釋全書）	一		三五六 一八六
論語解義	簡野道明 大正五	一		三五六 一八六 イ
同	改版 大正一三	特 一〇		一八一 二八七
論語考	寫本	二		五一〇 一五九
論語講義	澁澤榮一 大正一四	一		四〇 六五三 ハ
論語講義	根本通明 縮刷七版 大正七	一		七八 九三
同	大正四（新撰百科全書第一二三編）	一		三七〇 八一
論語講義	細川潤次郎、南摩綱紀 大正八			

		冊	函	號
ロングフエロウ詩集	ロングフエロウ著 松山敏譯 大正一四（世界名詩選第八）	一		五一六 三〇八
ロングフエロー及彼の詩	ボルトン著 伊藤宗輔譯 大正一五	一		五五〇 一〇三
論畫詩	浦上春琴（日本畫談大觀上編畫論ノ内 大正六）	三五六		三一六
論畫絕句	薄井龍之 大正元 一九頁	一〇		二四九 一〇八
論畫竹偶筆	土井聲牙（日本畫談大觀上編畫論ノ内 大正六）			二五六 三一六
論畫竹偶筆	土井聲牙著 伊東茂右衞門補 大正五	一〇		六七 三六九
論語	嘉永元〔釋深尊ノ批點シタル古寫本ヲ刊行セルナリ〕	特 二〇		二〇五 二三七
論語	何晏集解 寫本			二〇 せ 八三
論語（現代語譯）	小野機太郎譯（支那哲學叢書第三）再版 大正一五	一		五四八 三三
（袖珍）論語	山本邦彥編 大正一一	一		五一六 四六
論語（新釋日修）	槻康郎 大正一〇	一		三八七 二四三
論語（新釋日修）	皆川愿（淇園）一〇卷論語部三ノ内 大正一一（日本名家四書註釋全書）			五〇八 三
論語釋解	皆川愿（淇園）論語部五ノ内 大正一五（日本名家四書註釋全書）	一		三五六 一八六
論語解義	簡野道明 大正五	一		三五六 一八六 イ
同	改版 大正一三	特 一〇		一八一 二八七
論語考	寫本	二		五一〇 一五九
論語講義	澁澤榮一 大正一四	一		四〇 六五三 ハ
論語講義	根本通明 縮刷七版 大正七	一		七八 九三
同	大正四（新撰百科全書第一二三編）	一		三七〇 八一
論語講義	細川潤次郎、南摩綱紀 大正八			
論語考文	猪飼敬所（彥博）（日本名家四書註釋全書論語部二ノ内 大正一二）	一		五一六 三〇八
論語合考	平賀晉民編 寫本 四卷	一		五五〇 一〇三
論語義疏	古寫本 文明一四	三五六		三一六
論語義疏	懷德堂記念會編 大正一三	一〇		二四九 一〇八
論語古義	伊藤仁齋（維楨）（日本名家四書註釋全書論語部一ノ内 大正一二）	特 六〇		一六三 八四
論語古義	伊藤仁齋（維楨）明治一三（複製） 一〇卷	一〇		五〇八 三
論語々由	龜井道載（魯）〔龜井昱ノ書入アリ〕	一〇		一五九 八六
同	（日本名家四書註釋全書論語部二ノ内 大正一一）	二〇		五〇八 三
論語集解攷異	吉田篁墩（漢官）一〇卷（日本名家四書註釋全書論語部三ノ内 大正一二）	五〇八		三
論語集解筆記	岩垣龍溪著 猪飼敬所等記 寫本	二〇		二一七 二六七
論語集註（補註）	簡野道明補註 大正一〇	一		三三三 三九七
論語集註俚諺鈔（重改）	毛利瑚珀（貞齋）著 久保天隨校 大正二（漢文叢書第一册）	一		三四五 五
論語示蒙句解	中村惕齋（先哲遺著漢籍國字解全書第一卷ノ内 明治四五）	三二六	ロ	一三七
論語詳解（口釋）	野中元三郎 大正九	五五五		一
論語新註	豐嶋豐洲（幹）四卷（日本名家四書註釋全書論語部五ノ内 大正一五）	一		三八七 一四五
論語鈔	一至五 並解題（成嘉堂叢書第一〇編 同別册） 大正六	五〇八		三
論語小解	一〇卷	六〇		一八七 四八一
論語折夷	岩垣龍溪著 藤原正臣記 寫本	五〇		一〇三 二〇三
論語知言	東條一堂（弘）著 大正一五 一〇卷（日本名家四書註釋全書論語部六）	八〇		一二七 二六六
		一		五〇八 三

		冊	函	號
論語徵	荻生徂徠　一〇卷（日本名家四書註釋全書論語部五ノ内　大正一五）	五	〇八	三
論語難章講義	櫻田廸稿本　寫本	八	〇	
論語年譜	附錄付　林泰輔編　大正五	二	三五六	二四七
論語駁異	海保元備（青陵）稿本　寫本	特	一〇	八二七
論語逢原	中井履軒（積德）四卷（日本名家四書註釋全書論語部四ノ内　大正一四）	五	〇八	三
論語欄外書	佐藤一齋（坦）（日本名家四書註釋全書論語部一ノ内　大正一一）	五	〇八	三
論山彌勒乃栞	二村政了編　大正一一　三三頁	一	〇	一八二
論書三十首	日下部鳴鶴　大正一〇	一	〇	一七一
論註千百年眼	定月撰（淨土傳燈輯要卷下ノ内　大正一〇）	一五九		八九
ロンドリー姉妹	モウパッサン著　宮島新三郎譯（モウパッサン全集第四卷ノ内　大正一〇）	一		五三三
倫敦	瀧澤七郎　大正一四	一		五三三
倫敦	長谷川如是閑　明治四五	一	三四二	九五
同	三版　大正元	一	三四三	九五
倫敦海戰法規	長岡春一　大正三	一	三五二	三一
倫敦金融市場の話	植野勳　大正一三	一	五三三	一三
倫敦隨筆	藤波慶太郎　大正一五	一	五二六	三五二
倫敦小品	松本泰（三田文選ノ内　大正八）	三	二九	二九一
同		三	二九	二九一
倫敦塔	夏目漱石　大正四〔「幻影の盾」等ト合綴〕	七	一	五三
倫敦地方行政	東京市役所（深野英二）編　大正四	一	三五三	五九
ロンドン乘合自動車に就て	東京市電氣局調査課編（同課調査資料第四卷第一號ノ内　大正一二）	一	三八三	五六
倫敦名所圖會	伊地知純正　三版　大正八	一	三五五	三一
ロンドン夜話（雲梯一土產）	林田龜太郎　大正一五	一	三八四	一九八
倫敦より東京へ	高橋皸　大正九	一	三六三	三七
ロンブ犯罪人論	寺田精一　大正六	一	三七五	九
ローゾ		一	三五五	一〇〇
論文作法	生田長江　大正七（文藝研究叢書第一編）	一	三五四	七七
論文集	ショヲペンハウエル著　佐久間政一譯　大正九（杜翁紀念文庫第一）	一	四五〇	七七
論文體の自然主義	島村抱月（抱月全集第七卷ノ内　大正九）	一	五三六	八六
論理學	入澤宗壽、武政太郎　大正一四	一	五四八	一九
論理學	大西祝　改版　大正一三（大西博士全集第一卷）	一	二六二	六四
論理學	島田民治等（統合教育教科書ノ内）	一	四五	三一六
論理學	高山樗牛（樗牛全集第五卷想華及消息ノ内　一七版　大正二）	一	三五五	三〇
論理學	速水滉　五版　大正五（哲學叢書第四編）	一	五〇〇	三三
論理學	本宮彌兵衞　大正一二（最近思潮叢書第三編）	一	五三六	二七二
論理學（集一）	安島健　大正一五	一	三四九	三八
論理學要義	千頭清臣　大正二	一	三四九	三八
同				
論理學要領	松浦勇等編　大正一四（教育要領叢書第三編）	一	三五九	七八
論理學概論	永野芳夫　大正一五	一	五三五	二六七
論理學綱	中桐確太郎　大正一五	一	五五八	五
論理學綱要	須藤新吉　大正一五	一	五二五	二六七
論理學講話	久保勘三郎　大正九（哲學講話第一〇編）	一	三九〇	八
論理學通論	須藤新吉　大正一四	一	五一〇	三二
論理學的見地より見たる國語の研究	今福忍（中島敎授在職二十五年記念論文集ノ内　大正八）		三七〇	一〇八
論理學の原理	ウヰンデルバント著　佐竹哲雄譯　大正一〇（大村論文叢書第六）	一	五〇〇	五
論理學早わかり	小林鷲里　大正一三（國民叢書ノ内）	一	五一五	九九

ワ

ワーヅワース詩集	ワーヅワース著　木内打魚譯　大正一五（泰西詩人叢書第一五編）	一	三八九	八七
ワァレンカ、オレソーウ	ゴオルキイ著　下村千秋譯　大正一三	一	五二九	一九四
同		一	五三八	二六
ヴイオリン奏法の研究	佐藤謙三　大正一五（音樂叢書第八編）	一	五〇〇	五六
隈閣失政史論	高橋磯太郎　大正九	一	三八二	八四
隈玉蒙求	山下彌之吉編　大正一二	一〇	一六〇	一一三
隈山春秋	平井收二郎（國書刊行會本史籍雜纂第五ノ内　明治四四）	四一	一二九	イ
矮性果樹	内田郁太（溪月）、戸谷孝之　大正二	一	三三九	二六〇
ワイルド詩集	ワイルド著　日夏耿之介（樋口國登）譯　大正一二	一	五二六	八五
ワイルド全集	ワイルド著　矢口達編　大正九	五	三八九	二七
第一卷	オスカア・ワイルドの生涯（本間久雄） ドリアン・グレイの畫像（矢口達譯） アーサア・サヴイル卿の犯罪（秋田雨雀譯） カンタヴイールの幽靈（同）			
第二卷	模範金滿家（同） W H 氏の肖像（同） 祕密の無いスフィンクス（矢口達譯） サロメ（中村吉藏譯） フロオレンスの悲劇（本間久雄譯） パヂュアの公爵夫人（楠山正雄譯）			
第三卷	ウヰンダーミヤ夫人の扇（島村民藏譯） 理想の夫（坪內士行譯） 眞面目なる事の必要（谷崎精二譯） 何んでもない女（河竹繁俊譯）			
第四卷	エエラ（小山內薰譯） 柘榴の家（矢口達譯） 詩集（日夏耿之介譯）			
第五卷	架空の頽廢（矢口達譯） ペン、鉛筆及毒藥（本間久雄譯） 藝術家としての批評家（島村民藏譯） 深き底より（獄中記）（神近市子譯） 假面の眞理（小山內薰譯） 社會主義と人間の靈魂（本間久雄譯）			
雜纂	（矢口達譯）			
ワイルド童話集	柘榴の家　ワイルド著　本間久雄譯　大正五	一	三五七	二〇三
ワイレ博士の花卉肥料論	鈴木千代吉抄譯　明治四五　一八頁	一	三三七	六三
王右丞江山雪霽圖	唐、王維畫　博文堂發行　大正五	一	三八三	二六三
王位を逐はれた女	ポター・ペンコ著　梅田寬譯（世界短篇小說大系露西亞篇下ノ内　大正一四）	軸	一四三	二六三
			五二〇	四五

		冊	函	號
王維詩評釋	喜多尾道誠 大正一二	一	五三	一〇六
王氣	島村抱月（抱月全集第一卷ノ內 大正八）	一帖	三九	一二
王羲之眞蹟尺牘（寫眞版）	晉、王羲之書 西東書房發行 大正一一	一帖	二五	一六九
王建章扇面帖	明、王建章畫 畫報社發行 大正三	一帖	二亥	九一
王居士塔銘	博文堂發行 大正二	一帖	二七	一六七
黃金街	別名 經濟記事見方の知識 栗山秋香 四版 大正一五	一	五四七	一八一
黃金假面の王	シュウオッブ著 矢野目源一譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇下ノ內 大正一四）		五二〇	四五
黃金鍛及び鋼鐵鍛に就て	太田熊太郎 大正九（東京帝國大學工學部日本刀研究室報告第一六）	一	三三七	二九五
黃金時代之各炭礦	里見敬二、清宮一郎 大正八	一	三八五	三三
黃金島	（スチヴンソン物語）赤坂清七編 大正一三（兒童圖書館叢書第四編）	一	五一五	一二一
黃金傳說	ジヤック・ドゥ・ヴォラヂイヌ著 井上勇譯（世界短篇小說大系古代篇ノ內 大正一四）		五二〇	四五
黃金の渦卷へ	岡村周量（蒼天） 大正一三	一	五一四	二三一
同	大正一五	一	五一四	二三一
黃金の腦髓を持つた男の話	ドオデエ著 井上勇譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇上ノ內 大正一三）		五二〇	四
黃金杯	ワッセルマン著 森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內 大正一三）	一	五二〇	一
同		特	五二〇	一
黃金萬能	活人社編 大正三	一	三五〇	三二
王樣と骰子の目	高田保（日本戲曲集第二輯ノ內 大正一五）		五二七	六一
往事集	井上通女（女流文學全集第四卷ノ內 大正八）		三七一	一六四
往生集	明、袾宏輯（續淨土宗全書第一六ノ內 大正一五）		三三四	六三
往生淨土論略讚	廣瀨守一（尾張國講習會）講義錄第九回ノ內 大正八）		三三四	五三七
往生咒牽密記	尊海 二卷（眞言宗安心全書卷下ノ內 大正三）		三三四	三六五
往生禮讚要義釋觀門義鈔	證空撰 一〇卷（大日本佛教全書第五五册ノ內 大正四）		三五三	一〇
往生禮讚甲戌記	寶曉記 四卷（眞宗大系第三〇ノ內 大正一〇）		三六九	一五
往生禮讚偈講錄	石川了因 大正四		二〇二	三七二
往生禮讚聞記	養譲 三卷（眞宗全書第一一卷ノ內 大正四）		三四六	七
往生論註講判	吉谷覺壽 大正三	一	三二四	四一五
往生論註聞書	宣明 六卷（眞宗全書第七卷ノ內 大正二）		三四六	七
往生論註原要	大瀛 六卷（眞宗全書第一三卷ノ內 大正二）		三四六	七
往生論註八番問答講話	間野闇明 大正六	一	三二五	五一四
往生論註筆記	實雲 二卷（眞宗全書第一三卷ノ內 大正二）		三四六	七
往生論註服宗記	慧雲 六卷（眞宗全書第一三卷ノ內 大正二）		三四六	七
往生論註略解	圓月 二卷（眞宗全書第一二卷ノ內 大正三）		三四六	七
王者の悅樂	ユーゴー著 早川善吉譯（ユーゴー全集第八卷ノ內 大正九）		三五五	九三
黃色い血滴鹽	附 爾餘ノ「チアン」化合物 丹波敬三、田原良純（化學工業全書第一册ノ內 大正二）		四五	一九〇
同			四五	一九〇
王心齋先生全集	明、王良 五卷		二〇四	三七一
往診の夜	バローハ著 笠井鎭夫譯（世界短篇小說大系南歐及北歐篇ノ內 大正一五）		二〇四	三五〇

		冊	函	號
王子製紙株式會社案內	同社編 增訂 大正七 二六頁	一〇	一〇	二九一
同	大正一四 六七頁	一	五四〇	三八
皇子と燕	ワイルド著 本間久雄譯（世界短篇小說大系英吉利篇上ノ內 大正一五）	一帖	二三五	一六九
王時敏山水帖	明、王時敏畫 小林忠治郎編 大正七	一帖	四八	四九
王時敏晴嵐暖翠圖卷	明、王時敏畫 後藤博山編 大正一二	一	四一六	一三〇
往生要集	源信撰 六卷（大日本佛教全書第三一册ノ內 大正五）		三五三	一〇
同	三卷（大日本風教叢書第一輯ノ內 大正六）		三六九	二 イ二
同			三六九	一五
往生要集乙酉記	神興 七卷（眞宗大系第三五ノ內 大正一三）		三三七	二九五
往生要集講義	卷一至六 德龍 大正五	一	三八五	三三
往生要集講錄	上杉文秀 大正一四		三五一	一二一
往生要集講錄	柔遠 一〇卷（眞宗全書第一二卷ノ內 大正三）		三四六	七
往生要集釋	並 同詮要 源空編 大正五	一	三三七	八五三
往生要集唯稱記	崇廓 三卷（眞宗全書第一二卷ノ內 大正三）		三四六	七
往生要集略讚	慧然 四卷（眞宗全書第一二卷ノ內 大正三）		三四六	七
往生記	源空撰（淨土傳燈輯要卷上ノ內 大正七）		一九九	八九
往生記投機鈔	聖冏（淨土傳燈輯要卷中七卷書講錄ノ內 大正八）		一五九	八九
往生極樂問答	覺超撰（大日本佛教全書第二四册ノ內 大正二）		三五三	一〇
往生西方淨土瑞應刪傳	唐、文諗、小康撰（續淨土宗全書第一六ノ內 大正一五）		三二四	六三
王政復古の事情	淺野長勳 大正一〇 一三頁		三九六	一〇五
王政復古の歷史	萩野由之 大正七	一	三五四	一一八
王政復古論	大隈重信（明治天皇聖德奉頌講演集ノ內 大正一〇）		三九四	三四
王代年代略頌	（列聖全集御撰集第六卷ノ內 大正六）		三三八	三七八
王堂女性觀	田中王堂（喜一） 大正一二（文藝哲學講座第五輯）	一	五一五	三九
王道天下之研究	田崎仁義 大正一五	一	五三〇	二五〇
王道內編	長澤不尤（續日本經濟叢書第三卷ノ內 大正一二）		四四	三七三
同			三四六	一八
橫斷組合對縱斷組合	東京市電氣局調查課編（同課調查資料第四卷第三號ノ內 大正一二）		一四五	七七
王朝時代の陰陽道	齋藤勵 大正四（甲寅叢書第六編）	一	三四〇	三五
王朝時代の農民の生活	西岡虎之助（日本農民史ノ內 大正一四）		五三七	六〇
（全譯）王朝文學叢書	第一至四、六至一〇卷 全譯王朝文學叢書刊行會發行 大正一三至一五（細目ハ「センヤ」ヲ見ヨ）	九	三三九	三四六
橫笛譜裏書	源時仲（續群書類從第一九輯管絃部ノ內 大正元）		八〇	三二
王手飛車取り	正木不如丘 大正一五	一	五五〇	五四
黃銅凝縮管ノ腐蝕ニ就テ	服部武彥（臺灣總督府研究所報告第六回ノ內 大正七）		一四二	二八五
黃銅ノ成分ト軟過溫度トノ關係	東京砲兵工廠（大野宗平）編（大正一〇）	一	四一六	三八
王と漂浪者	ユーゴー著 川路柳虹譯（泰西叙事詩選第二）	一	五一六	三三四
王の如く强かれ	一舌主義 新村喜一郎 大正一〇	一	三九七	三三
黃檗希運禪師宛陵錄	唐、裴休集（大日本續藏經第五九五册ノ內）		二三五	二

書名	冊	函	號
黄檗禪師傳心法要　唐、裴休集（大日本續藏經第五九五册ノ内）		二三五	二
黄檗獨立詩書帖　性易書　星野直翁編　大正二	一帖	四〇六	四六
黄檗廼栞　林梅雪編　補再版　明治四五　五二頁	一	三三九	五三
王は死せり、王萬歳　コールリッヂ著　柳田泉譯（世界短篇小説大系英吉利篇上ノ内　大正一五）		五三〇	四五
王風箋題　清、丁立誠著　支、徐珂註　中華民國九	一〇	一六一	五五
王文成公客坐私祝　明、王陽明書　大日本歌道奬勵會出版部發行　明治四五	一帖	二四〇	五八
王勃集　巻二九、三〇　大正一一（京都帝國大學文學部景印舊鈔本第一集ノ内）	一〇	四三一	八
王法正理論　彌勒造　唐、玄奘譯（大正新脩大藏經第三一巻瑜伽部下ノ内　大正一四）　特		四四	三七四
同		八六	三九一
汪洋新詩集　正富汪洋（由太郎）　大正一一	一	五〇六	六
王陽明研究　桑原重矩　大正六	一	三六三	二一八
王陽明研究　安岡正篤　大正一一	一	五〇三	六三
王陽明詳傳　高瀬武次郎　大正四	一	四五	三七二イ
王陽明先生若耶帖墨妙　明、王陽明書　博文堂發行　大正二	一帖	一四五	一七
王陽明傳習錄提綱　漢學研究會編　大正一一	一	三三	三一四
王陽明とエマソン　岩野泡鳴（泡鳴全集第一八巻ノ内　大正一一）		五〇〇	一
往來づくし　寫本〔高井蘭山自筆トイフ〕　特	一	京乙	三三三
往來物に就きて（徳川時代庶民教育の教科書たる―）　岡村金太郎　大正一二　三七頁（財團法人啓明會講演集第九回）	一	一四、五	三〇

書名	冊	函	號
往來物に依つて見たる徳川時代の庶民教育　岡村金太郎〔大正一〇〕〔世界小學教育上第三篇ノ抜刷〕	一	二七五	二
往來物分類目錄　岡村金太郎編　大正一一	一	三一七	一三六
王履吉正書琴操　明、王寵書　博文堂發行　大正元	一帖	一三七	一五七
黄燐々寸ノ製造禁止　臨時平和條約事務局編　四四頁	一	三九七	三〇〇
和英現代新語の譯し方と使ひ方　山川作治郎　大正一四	一	三三三	六五七
和謠分國記（續群書類從第一九輯遊戲部ノ内　大正元）		八〇	三三一
同（續群書類從第一九輯ノ下遊戲部ノ内　再版　大正一五）		八〇	三三一ロ
ワオードの社會學　ワオード著　藤森達三譯　大正五	一	三五二	一三一
和歌　紀伊國造俊長集（續群書類從第一六輯ノ上和歌部ノ内　再版　大正一三）		八〇	三三一ロ
我愛する偉人諸葛孔明　永田秀次郎　大正九	一	三八八	三三五
わがあ幾　遠山椿吉（吐月庵主人）　大正一一	一〇	一八二	三九七
和歌合略目錄（續群書類從第一七輯和歌部ノ内　明治四五）		八〇	三三一
和解　志賀直哉　大正八（代表的名作選集第三三編）	一	七一	六〇〇
若い教師へ　山本良作　大正一一	一	二三三	二一七
和歌一字抄　二巻　大正三（國書刊行會本丹鶴叢書歌集物語ノ内）		三四三	四い
和賀一揆次第（續群書類從第二二輯ノ上合戰部ノ内　大正一三）		八〇	三三一
同		八〇	三三一イ
我が一生と事業　ヘンリー、フォード自叙傳　サミュール・クローザー編　加藤三郎譯　大正一三	一	五三二	四
同　大正一五	一	五三二	四イ

書名	冊	函	號
我が一九二二年（詩文集）　佐藤春夫　大正一二	一	五一七	一三八
若い人々の文章　岩野泡鳴（泡鳴全集第一八巻ノ内　大正一一）		五〇〇	一
わが家　岡本綺堂（綺堂戲曲集第一巻ノ内　大正一三）		五二七	一六
吾が家の顧問（内治外交）　中山三郎、關莊一郎　大正九	一	三四七	七九
我家の自然生活　第一、二篇　白木正光　大正一五	二	五六四	五一
吾家の設備　ウヰリヤム・メレル・ヴオーリズ　大正一三	一	五二八	六三
我が家の煖房　柳町政之助　大正一三	一	五二八	一四九
我家我藩の歴史　兼崎茂樹編　大正四	一	三四八	二九九
和歌色葉集（歌學文庫第五ノ内　明治四五）		三三〇	一七
わがうた千首　林竹次郎　大正一五	一	五一七	五〇〇
若人叢書　若人社發行　大正一四　第一巻　最善の信仰（本多日生）	一	五三九	七二
吾が幼年時代　ヘツベル著　佐久間政一譯註　大正一一（郁文堂對譯叢書第二編）	一	三三三	四六四
若江薫子と和解女四書　梶原竹軒編　大正六	一	三七〇	一四
我が江原素六先生　結城禮一郎　大正一五〔題簽ニハ「我が」ノ二字ナシ〕	一	五四九	五六
若えびす　靑木鷺水編（國書刊行會本德川文藝類聚第一一雜俳ノ内　大正二）		三三〇	四九い
若尾逸平　内藤文治良　大正三	一	三四八	二〇一
和歌をさなまなび　武島羽衣　大正六	一	三六三	二四一
わが敎へ子　栢野ヒサ　大正九	一	二九九	五五

書名	冊	函	號
わが思ひ出　マスネエ著　小松耕輔譯　大正一三	一	五一三	二八五
我思ふ所　尾崎行雄　大正一〇　第一册　軍備制限に就て　第二册　政界革新に就て	一	三九七	一三七
我が海軍　其の一　舞鶴海軍人事部編　大正一〇　三〇頁	一	三一八	四五二
我が校教育の復興　東京市月島第二尋常小學校編　大正一三	一	二七二	六〇
我校兒童の知能測定　吉野紋藏（兒童教育研究會紀要第四巻ノ内　大正九）	一	二七一	九一
我が校の教育　岡山縣女子師範學校附屬小學校編　大正一五	一	二七二	七〇
若返り法と男女兩性の人工的變化　山尾淸實　大正一〇	一	六〇	七一五
吾がカメラの記念　渡邊旭　大正九	一	三九四	二一
若きアキレス　シュミットボン著　秦豐吉譯（近代劇大系第七巻獨墺篇三ノ内　大正一三）		五一五	二六
同（近代劇大系第七巻獨墺篇三ノ内　大正一四）		五一五	二六イ
若き泉　三島章道　大正一〇	一	五〇一	一三六
若きいのち　沖野岩三郎　大正八（沖野岩三郎著作集第二）	一	三七五	四〇
若きヱルテルの悲み　ギヨオテ著　秦豐吉譯　一〇六版　大正一四	一	五五〇	六
若きヱルテルの惱み　ゲーテ著　鼓常良譯（ゲーテ全集第六巻ノ内　大正一四）		五三九	一九
若き求道者の嘆き　河原辰三　大正一〇	一	五〇一	二〇六
若き鄕愁（詩集）　白鳥省吾　大正一一	一	五〇六	二三八
若き科學者の隨筆　間島道彦　大正一五	一	五二五	二八一
若き敎師の進むべき道　明治教育社編　大正七	一	二六四	二四

		冊	函	號
若き教師の惱み	青木健作 大正八	一	三九一	一二
若き士官へ	石井淳 大正三	一	三一九	三三七
若き自然	吉江喬松 大正一三〔四部作自然美表現第一卷〕	一	五二三	一六六
若き支那に學べ	石本惠吉（婦人問題講演集第七輯ノ內 大正一〇）		五〇〇	二
若き男女と其の衞生	鴨田修治 大正六	一	六一	二三七
若き男女へ	マックス・オーレル著 藤井白雲子譯 大正二	一	三三八	一七六
若き女子の爲めに	山脇房子等 大正一五	一	五三六	三三九
若き妻	菊池幽芳（幽芳全集第二卷ノ內 大正一三）		五一五	一二七
同		特	五一五	二二七
若き友へ	與謝野晶子 大正七	一	三七七	八二
若き入獄者の手記	南部修太郎 大正一三	一	五三三	一七四
同 三版	大正一三	一	五三三	一七四イ
若き日本の行くべき道	二荒芳德 大正一五（薔薇書店パンフレット第六編）	一	五四九	一七〇
若き母親の爲めに	乳兒の哺育と其看護 長尾美知 大正一二	一	五六	一八八
若き日	加能作次郎 大正九	一	三九一	一七六
若き人々の爲めに	歐羅巴乃美文 福山太郎 大正二	一	三五〇	一五三
わかき日の經典	（青春讃美） 永井陸奥郎 大正一二	一	五三六	五
若き日の惱み	藤森成吉 大正九	一	三九一	一五七
同 改版	大正一二	一	三九一	一五七イ
わかくさ	（口語詩選集一） 山口勳編 大正一一	一	五〇六	一九四
若草山	猪苗代（歌學文庫第八ノ內 大正二）	一	三三〇	一七
和樂精通	附 諸樂器對照表 石出一賀編 大正四	一	三二七	七五九
倭樂傳記	寫本 三卷	一	一〇四	三五七
我の國	京華日報社發行 第一五三號（大正六年六月）至第一八五號（大正九年八月）〔「世界」ノ改題〕	五	雜 五四	四五イ
我が國家族制度ト現行民法ノ矛盾	高橋富作 大正一五	一	五四九	四九
我國貴族院の採るべき態度	近衞文麿 大正一五	一	五三四	四二九
我國銀行經營の根本問題	松崎壽（研究室）調査報告第五册 大正一二（大阪高等商業學校銀行業務	一	一四五	三九
我國經濟を如何にして發達せしむ可きか	河津暹（財政經濟と生活問題「日本の財政經濟」ノ內 大正三）	一	三五六	五一
我邦現下の財政經濟事情	青木得三 大正一四（救化資料第一四輯）	一	三九三	七二九
我國現下の糧食問題	稻垣乙丙（明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內 大正九）	一	四五	一
我國現在及將來に於ける財政經濟	田尻稻次郎 大正七（豫稿叢書第一編）	一	三一	六〇六
我國現時の教育思想界の二大潮流	樋口長市（最近思潮教育夏季講習錄大正一三年度ノ內 大正一三）	一	二九八	三九
我國現時の三大教育學說	樋口長市 大正一五	一	二五三	三五三
我國憲政ノ由來	板垣退助（國家學會創立滿三十年記念明治憲政經濟史論ノ內 大正八）	一	三八二	三三
我が國公園の現狀	小濱淨鏡（都市と公園ノ內 大正一三）		五〇七	一六六

		冊	函	號
若き日の話	豐島與志雄（ヴエストポケット傑作叢書第六編ノ內 大正一〇）	一	三九	五六
若き日のペスタロッチ	細井次郎 大正一四	一	二五	七 七
若き日の夢	松山敏 大正一五（金星堂刊行抒情詩集叢書ノ內）	一	五五〇	四四
わかき婦人の結婚と自覺	沼田笠峰 大正八	一	三八七	二九
若き婦人の心得	（日常衞生） 吉岡彌生 大正六	一	五六	一三三
わかき婦人の思想生活	沼田笠峰 大正九	一	三八七	一九〇
若き婦人の行くべき道	沼田笠峰 大正六	一	三六三	六九
同 改訂	大正一三	一	三六三	六九イ
若き誇り	（野球小說集一） 若水翠葉 大正九	一	三九一	二一五
我君	ショルツ著 森鷗外譯（鷗外全集第二二卷ノ內 大正一二）		五二〇	一
同		特	五二〇	一イ
同		特	五二〇	一ロ
同	（一幕物ノ內 大正元）		九三	三三イ
和歌紀聞	貝原篤信（歌學文庫第五ノ內 明治四五）		三三〇	一七
我郷土史	小林小市郎編 大正一五（題簽等ニハ「鄉土史」トアリ）	一	五五六	三三
同		一	五五六	三三イ
我が郷土の史蹟と傳說	澁谷吾往齋編 大正一五	二	五五六	三九
若き雄作の悲しみ	辰巳正直 大正三	一	三五七	七三
若きルーテル	佐藤繁彥 大正七	一	三三五	二七一
我國財政經濟の概觀	小林丑三郎 大正一四（救化資料第一三輯）		三九三	七二九
我國財政經濟の現狀	附 復興貯蓄債券の賣出に就て 大藏省理財局編（勤儉奬勵講演資料第一輯） 大正一三	一	三九三	七〇七
我國財政の概要	救化團體聯合會編（救化資料第八輯） 大正一四	一	三九三	七二九
我國產業の大勢と世界に於ける我國の地位	大濱喜一郎（島根縣自治協會佛教奉公團青年團講習錄ノ內 大正九）		四五	五五三
我國資本家階級の發達と資本主義的精神	圓谷弘 大正九	一	三六二	二二三
我國商工業の現在及將來	一名 企業集中と國家 農商務省商工局編 大正三	一	三三六	四一
我國將來の教育	谷本富（最近思潮教育冬季講習錄大正三年度ノ內 大正三）	一	二五八	三九
我國人口問題を如何にして解決すべきか	宮本忠勝（長崎高等商業學校）創立二十周年記念講演及論文集ノ內 大正一五）	一	五一八	二〇六
我國人口問題の一考察	石本惠吉（新社會的秩序ヘノ內 大正一一）	一	五〇三	二八二
我國水力電氣の利用限度に就て	東京市政調查會資料課編 大正一三	一	五一八	二七
我國製鐵業發展の能否率を論じて其大縱斷鐵工業の提唱に及ぶ	齋藤彌之助（開闢五十年記念學生論文集ノ內 大正一五）		五三〇	二一一
我國石油政策に對する卑見	高野毅 大正九 三五頁	一	三九七	一〇〇
我邦道德の改善	深作安文（今後の國民修養ノ內 大正四）		三六〇	八七
我國女性最高典型	靜寬院宮御事蹟 桑原隲旭 大正一五	一	五四九	七〇
我國都市と農村との使命	都市篇、農村篇（國家學會創立滿三十年記念明治憲政經濟史論ノ內 大正八） 川上天山（中樞社會思潮第五、六册） 大正一四	二	三九三	七二四

		冊	函	號	
我國に於ける各種工業用動力と電氣の利用に就て	電氣試驗所第三部(廣部德三郎、久保進)編 大正二	一	三四	四五八	
同	大正二(電氣試驗所第三部研究報告第一七號)	一	一四、五	七	
我國に於ける基督に對する誤解	松原英一 大正八	一	三三	三三四	
我國に於ける外國語問題とエスペラント	八木日出雄 大正一三	一	三九三	五九五	
我國に於ける國體觀念の發達	深作安文 大正九	一	三八七	二〇四	
我國に於ける鹽の需給と關東州の鹽業	大倉一郎、越山官勝(滿鐵調査資料第五一編) 大正一五	一	一四、五	一七イ	
我國に於ける社會思想の推移と協調主義	添田敬一郎(新しき愛國論ノ內) 大正一三		五三三	九七	
我邦ニ於ケル精神病ニ關スル最近ノ施設	吳秀三	一	六一	一三	
我が國に於ける燈火燈器の變遷及其發達	內阪素夫 大正五	一	三五一	一一四	
我國ニ於ケル土地所有權ノ移動	高岡熊雄(金井教授在職二十五年記念最近社會政策ノ內 大正五)		三六六	五	
我國に於ける木材の需給と滿洲材	野中時夫 大正一三 八四頁(滿鐵調査資料第二四編)	一	一四、五	一七イ	
我邦ニ於ケル木造洋風家屋ト其ノ腐朽	農商務省山林局(川村清一)編 大正五				
同	大正一四	一	三二	一七八	
同		一	三二一	一七八イ	
同		一	五二四	一九一	
我國に於ける勞働委員會制度	協調會編 大正一五	一	五六一	一二一	

		冊	函	號	
我國に於ける勞働學校	東京市社會局編 大正一四(勞働教育に關する調査一)	一	二九〇	四四	
我邦に於ける論語の實行と研究	林泰輔(孔子祭典會講演筆記第一〇回ノ內 大正七)		三七三	一六〇	
我國に傳へたる支那古代の繪畫	瀧精一(美術講話集第一輯ノ內 大正一五)		五六四	一八三	
我國の醫學語を如何すべき	池田孝男 大正一一 一六頁	一	三九七	三三三	
我國の海外貿易に就て	奈佐忠行(東京商科大學創立五十周年記念論文集ノ內 大正一四)		五一三	三三七	
我邦の關稅	荻田才之助 大正一〇	一	五一二	二四	
我國の教育	澤柳政太郎(澤柳全集第一卷ノ內 大正一四)		五二〇	三七	
同			五二〇	三七イ	
我國の現狀と青年	末廣重雄 大正一三 五六頁	一	三九三	五九八	
我國の現狀と勞働組合法案	藤原銀次郎(金井教授在職二十五年記念最近社會政策ノ內 大正五)		一四、五	五三	
我國の國際的地位	遠藤源六(故天野松子追悼講演集ノ內 大正九)		四五	五五〇	
我國の湖沼と其經濟的價値	田中阿歌麿(明治聖德記念學會紀要第一七卷ノ內 大正一一)		一四、五	一	
我國の米問題	大脇正諄 大正八	一	三八六	一二七	
我國ノ相續稅ヲ論ズ	工藤重義(金井教授在職二十五年記念最近社會政策ノ內 大正五)		三六六	五	
我國の資本家團體	森田良雄 大正一五	一	五六五	七一	

		冊	函	號	
我國の社會組織	高楠順次郎(京都女子高等專門學校特別講義錄第一、二輯ノ內 大正一〇)		三九七	一三〇	
我國の食糧問題と西比利亞の開發	正田貞一郎 大正一四 三一頁	一	五二四	二一六	
我國の人口集積と國策	石橋五郎 大正一五(神戸高等商業學校)商業研究所講演集第三〇輯)	一	一四、五	四一	
我國の震災に對する震災に關する諸名士の所感	國際聯盟協會編(同會)パンフレット第三八輯) 大正一二	一	五一五	五三	
我國の生活難と泰西の生活難	安部磯雄(財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ內 大正三)		三五六	五一	
我國の陪審法	中島玉吉 大正一二	一	五〇三	二五三	
我國の紡績業に就て	井上漾 大正一四	一	五二四	三六七	
我邦の犯罪に就て	岩田久吉(教育研究會講演集第七輯ノ內 大正一二)		二五三	八二	
我國の婦人勞働問題	鈴木文治(婦人問題講演集第二輯ノ內 大正九)		五〇〇	二	
我國の貿易に就て	堀越善重郎(東京商科大學創立五十周年記念講演集ノ內 大正一五)		五一八	二〇五	
我國の羊毛貿易に就て	前田卯之助 大正一四 八八頁	一	五三四	三九四	
我邦飛行界指導者の消息	長岡外史 大正八	一	三七三	三六五	
我邦保險監督法規の沿革	玉木爲三郎(矢野恒太君保險關係二十五年記念報告ノ內 大正四)		三三七	七五三	
我國勞働問題解決の根本策	添田壽一 大正一五(學藝講演通信社パンフレット第一七編)	一	五二四	三六九	
我國勞働問題の實際	岡田純夫 大正八(社會改造叢書第二編)	一	三八九	八	

		冊	函	號	
和學辨	篠崎維章 三卷(國書刊行會本三十輯第四ノ內 大正六)		三三〇	五一	
和歌會作法		一	一〇三	三八七	
和歌會式	(本居翁說) 小島新吉發行 大正一二 二七頁	一	一八二	四〇四	
我が環境	岡田哲藏 大正一一	一	三九六	三六九	
我軍國主義	成澤茂馬 大正六	一	三六三	五七	
和賀郡誌	岩手縣教育會同郡部會編 大正八	一	三八四	九九	
和歌形式論(英詩から見た)	八木又三 大正九	一	三九一	一三三	
我教室屍體身長及ビ體重統計	大浦俊男等 大正七(鹿岡醫科大學雜誌第一一卷第一號別刷)	一	五一	二四	
我教室ノ新築ト七年	九州帝國大學醫科大學皮膚科教室編 大正三	一	五七	三七	
我建國の根本精神と戰時の歐米列强	阪谷芳郎、加藤玄智 大正七	一	三七三	八九	
和歌現在書目錄	(續群書類從第一七輯和歌部ノ內 明治四五)		八〇	二二一	
若公爵	ラヴダン著 大關柊郎譯(現代佛蘭西戲曲傑作叢書第二編ノ內 大正一一)		五〇五	四四	
吾兒を如何に妻と夫の僉方問答	天野馨(誠齋) 大正一〇	一	二七一	一〇五	
我が國家の成立と現代思潮の趨勢	加藤玄智(明治聖德記念學會紀要第一八卷ノ內 大正一一)		一四、五	一	
我國體觀念	井上哲次郎、黑板勝美 大正一四(陸軍士官學校生徒課外講演第九輯)	一	三九三	六四八	
我國體教育に就いて	新納樂山(教育資料第一輯ノ內 大正一三)		二五九	六五	
我が國體と神道	加藤玄智 大正八	一	三三五	三三七	

		冊	函	號
我國體の特色を論じて「しらす」「うしはく」に及ぶ	井上哲次郎（明治聖德記念學會紀要第一三卷ノ內） 大正九	一四五		一
我が國體の特色と敬神の眞意義	加藤玄智 大正一三	一	三九三	六七三
同（新しき愛國論ノ內）	大正一三）	五三三		九七
我が國士	小田內通敏 大正二	一	三五〇	一五九
我國民經濟と財政	土方成美 大正一五	一	五四六	二一六
吾が國民教育の革新	岩滿仲太郎 大正五（國民叢書第一編）	一	二五九 五	三八
我國民所得の變遷	村地信夫 大正一四（救化資料第一六輯）	一	三九三	七二九
我が國民生活と極東外交の變局	青柳篤恒（南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局社友會文藝部）講演集ノ內 大正一四）	五三四		二三六
我國民性としての海國魂	山崎米三郎 大正六	一	三七六	一八
我が國民性の新研究	小澤恒一 大正一五	一	五三六	二一四
我國民性より見たる社會問題	島本愛之助（社會問題十五講ノ內 大正一二）	五〇三		二四〇
我が國民道德	吉田熊次 大正七	一	三七〇	三三
我國民の經濟的進步の能力	戶田海市（財政經濟と生活問題「日本の財政經濟」ノ內 大正三）	三五六		五一
我國民の正統思想に就て	作田莊一（山口高等商業學校開校第二十周年記念講演及論文集ノ內 大正一五）	五二八		三二
我國民ノ天職	鈴木良平 大正八	一	五九	一四三

		冊	函	號
我が五十年	巖谷小波（季雄）大正九（袖珍名家文庫第一〇編）	一	三六〇	八
我五十年	村上浪六 大正三	一四、五		一
我が古代國民の自覺	岡田正之（明治聖德記念學會紀要第一八卷ノ內 大正一二）	一	三六三	一六一
我が兒の生ひ立ち 愛撫八年	柴崎ゆう 大正六	一	三三五	九九 ロ
我が子の思出	村田勤編 大正一四（「慈愛の淚」ノ改題）	一	三三八	二五八
我が子の氣質と育て方	小關源助 大正二	一	三七一	九一
わが子の金錢教育	薩三郎 大正七	一	二五三	二六五
我子の教育	西村伊作 大正一二	一	二七一	九五
我が子の教育	鳩山春子 大正八	一	二七一	八五
我子の早教育	服部北溟 大正六	七	二七一	一〇〇
我が子の躾方叢書	加藤末吉 大正九至一四			
	い 第一編 愛兒のしつけ方	一	五四六	二〇一
	ろ 第二編 兄弟喧嘩を少くする工夫、叱り方、ほめ方	一	三八七	二二
	は 第三編 家庭復習の方法、說諭の仕方	一	五六〇	一
	ほ 第五編 愛兒入學前の用意、入學後父兄の用意	一	二五二 一五	一〇〇
	へ 第六編 愛兒の學力を進むる工夫		五〇〇	一
	と 第七編 愛兒の惡癖矯正			
	ち 第八編 愛兒の躾と親のたしなみ			
我子の職業	稻葉幹一（小野磐彥（職業指導叢書ノ內） 大正一五			
我子の職業選擇	稻葉幹一 大正九			
我子の心理	黑瀨艷子（母性讀本第三） 大正一五			
我子の性教育	三宅やす子 大正一三			
わが子の樣に	岩野泡鳴（泡鳴全集第七卷ノ內 大正一〇）			

		冊	函	號
若駒驤會我	（芝居繪本第二一）	特一〇		
我衣	曳尾庵（近古文藝溫知叢書第一〇編ノ內 再版 明治四三）	京	三七六	
若遠敷郡誌	同郡教育會編 大正一一 七六四頁	四二	三三 イ	
狹		一	三九八	一三三
若狹及び越前に於ける古代遺跡	上田三平編 大正九、一〇（福井縣史蹟勝地調查報告第一、二冊）	二	一四、五	三五
壯盛末摘華	石川豐信畫 寶曆七 二〇枚	特一〇	京乙	三六〇
和歌作法	婦人文庫編輯局編（婦人文庫第八回歌集ノ內 大正三）		三四〇	三七 ち
和歌作法集	佐佐木信綱、芳賀矢一校註（校註和歌叢書第七冊） 大正四	一	三四五	三
若狹郡縣志	吉田言倫 一〇卷（大日本地誌大系第一三冊諸國叢書北陸之一ノ內 大正六）		三五三	二 り
同			三五三	三 り
和歌さゝれ石	了諦編 元祿一六 二〇卷	特六〇	一九一	七六一
若高濱案內	宮崎最勝（雪濱） 大正一〇	一	三九三	三二〇
狹		一枚	二九	一八七
若狹國輿地全圖	寫本 一·七×二·六			
若樣初陣	天野雉彥（日曜學校講習會講義錄第四回ノ內 大正八）		二八五	二
若狹道	田山花袋（花袋全集第一三卷ノ內 大正一二）		五一五	三六
わが懺悔	トルストイ著 百島操譯（トルストイ著作選集第二輯） 大正一四	一	五三九	四三
我が產業と貿易の將來	堀越善重郎 大正九	一	三八〇	四四
和歌三神考	伊勢貞丈（近古文藝溫知叢書第一〇編ノ內再版 明治四三）	四三		三 イ
和歌自由自在	歌學研究會編 大正二	一	三三九	二一九

		冊	函	號
我が宗教	トルストイ著 生田長江譯（トルストイ叢書第一） 大正五	一	三五	二七六
同	トルストイ著 加藤一夫譯 大正一二	一	五〇四	一七六
同（トルストイ全集第五卷ノ內 大正八）			三九〇	三九
我が宗教觀	中西伊之助 大正一四	一	五三三	四六
和歌詞源抄	大町五城 大正一一	一	五〇六	六三
和歌史の研究	佐佐木信綱 大正五（大日本學術叢書第三）	一	三五三	一八
和歌拾遺六帖	契沖（契沖全集第六卷ノ內 大正一五）		五二〇	五三
我西伯利亞政策の錯誤と尼港問題の責任	松枝保二 大正九	一	三九三	五二
我が生涯から	（詩と眞實）上卷 ゲーテ著 雪山俊夫譯 大正一四（ゲーテ全集第一一卷）	一	五三九	一九
我社の三十年	伊豫鐵道電氣株式會社編 大正八	一	三八六	六一
吾社之實力（創立參拾年紀念）	大阪商船株式會社編 大正三	一	四一九	二七
我が書翰	五十嵐力 大正五	一	七一	五三七
我書道觀	野呂空處 大正七	二〇	一八六	二三八
我が人生觀	江原小彌太 大正一三	一	五二五	一四九
我神道と哲學及び倫理	小田垣彥三郎（憲堂） 大正二	一	三四四	二六八
わが新天地	村島歸之 大正一一	一	五一四	三三
和歌深秘抄	堯憲（歌學文庫第八ノ內 大正二）	三三〇		一七
同	（續群書類從第一六輯ノ下和歌部ノ內 再版 大正一四）	八〇		三二 ロ

	冊	函	號
我新文明の曙光　杉亭二（日本と和蘭ノ内　大正三）	三五	五	
同	三五九	五	イ
我が水彩　石井柏亭　大正二	一	三四二	四三六
若杉裁判長　菊池寛（ヴエストポケット傑作叢書第七編ノ内　大正一〇）	三八九	五六	
同　（菊池寛全集第一巻ノ内　大正一一）	五〇五	三三	
我住森雪の裏梅　寫本（松島松作芝居臺帳第三ノ内）	八二四	二	
吾が生活　田中澤二（螢澤籃川）　大正一四	一	五三六	一七二
わが生活より　（作爲と眞實）前編　ゲーテ著　生田長江譯　大正一三（ゲーテ全集第八卷）	一	五二〇	一三
我が青年及青年團　山崎延吉　增訂再版　大正六	一	三六二	九
同　大正四（興風叢書第四卷）	一	六三	三九
和歌抄　物集高見編　大正一一	一	五一六	四三
和歌叢書（校一）　佐佐木信綱、芳賀矢一校註　博文館發行	七	三四五	三
第一册　萬葉集略解　上（加藤千蔭）			
第二册　同下（同）			
第三册　八代集　上			
古今和歌集（紀友則等奉勅撰）			
後撰和歌集（坂上望城等奉勅撰）			
拾遺和歌集			
後拾遺和歌集（藤原通俊奉勅撰）			
第四册　同下			
金葉和歌集（源俊頼奉勅撰）			
詞花和歌集（藤原顯輔奉勅撰）			
千載和歌集（藤原俊成奉勅撰）			
新古今和歌集（源通具等奉勅撰）			
第五册　三十六人集			
第六册　近代名家歌選			
賀茂翁家集（賀茂眞淵）			
天降言（田安宗武）			
桂園一枝（香川景樹）			
桂園一枝拾遺（香川景樹）			
貧窮百首（木下幸文）			
志濃夫廼舍歌集（橘曙覽）			
草徑集（大隈言道）			
向陵集（野村望東尼）			
第七册　和歌作法集			
言葉の直路（松田直兄）　一卷			
八雲のしをり（間宮永好）			
歌の大意　二卷（長野義言）			
歌のしるべ（藤井高尚）			
ふりわけ髪（小澤蘆庵）			
桂園大人詠草奥書（香川景樹）			
歌學提要（内山眞弓）			
歌意考・賀茂眞淵）（同）			
にひまなび（香川景樹）			
新學異見（富士谷成章）			
歌ぶくろ（村田春海）			
歌がたり（武者小路實陰）			
初學考鑑（辨入道眞覩）			
籤の河上八雲御抄（順德天皇）			
無名抄（鴨長明）			
異本悦目抄			
我祖法然上人　高瀬承嚴編　大正一三	一	五二一	五三
和歌題意考　保田光則　四卷（仙臺叢書第五卷ノ内　大正一三）	五〇八	一三	
吾が體驗の道　川合信水　大正一四	一	五三三	九二
我が太古の農業　喜田貞吉（日本農民史ノ内　大正一四）		五三七	六〇
若竹　天の卷　太田平助意匠部編　明治四五	一〇	四一八	一三
若旦那の兵隊さん　たまむし生　大正五	一	七一	五九七
我が斷片　岡田哲藏　大正一一	一	三九六	三六八
我津衛　手島堵庵　三卷（通俗經濟文庫卷七ノ内　大正六）		三五五	五三
若月紫蘭第二戲曲集　若月紫蘭　大正一一	一	五〇一	七五
若槻大宰相　島根縣教育會編　大正一五	一	五五六	一二五
若槻禮次郎（平民宰相）　尼子止　大正一五	一	五五四	三四
我帝國と農業　高岡熊雄（北海道大谷派講習會講演集第四回ノ内　大正九）	三三四	六二四	
吾帝國に珍らしき愛知縣産の草木の話　梅村甚太郎　大正九	一	三九七	三三
我が手を見よ　野口米次郎　大正一二	一	五一七	三五一
和歌童蒙抄　藤原範兼　一〇卷（國文註釋全書第五編ノ内　大正二）		六三	八五 イ
和歌と皇室　武島又次郎（明治聖德記念學會紀要第一九卷ノ内　大正一二）	一四五		一
和歌と戰爭　佐佐木信綱（明治聖德記念學會紀要第四卷ノ内　大正四）	一四五		一
和歌と俳句　科外教育叢書刊行會編　大正七（科外教育叢書第五八）	一	三五五	八四
吾亡妻　宮崎三昧（世界短篇小說大系日本篇上ノ内　大正一四）		五二〇	四五
我が南洋　山崎直方　大正五	一	三六〇	二八七
同　大正一五	一	三六〇	二八七 イ
和歌に因む裾模様　白木屋呉服店意匠部編　大正六	一	四一〇	三三
我が日蓮主義　佐藤鐵太郎　大正六（縮刷名著叢書第三九編）	一	三七	三七六
我が日蓮主義　佐藤鐵太郎　大正六（縮刷名著叢書第三九編）	一	三三	二二
和歌入門　佐佐木信綱　明治四五	一	一四五	一
我日本音樂の將來　富尾木知佳（明治聖德記念學會紀要第四卷ノ内　大正四）		三五七	五九
和歌之浦　坪内逍遙（墮天女ノ内　大正四）	一	二	三一八
和歌浦遊覽の友　四友會編　大正二	一	三九六	三六四
和歌浦名勝案内　今井金陵　大正一一	一	三六四	三五九
和歌の作り方　樋口紋太　大正六			
和歌の作りやう　歌道普及會編　大正六			
和歌の手ほどき（解一說一）　三浦圭三　大正六			
和歌の話　佐佐木信綱　大正一〇			
同　大正一五			
和歌俳諧の諸問題　太田水穗　大正一五			
和歌俳句家庭訓話　足立四郎吉編　大正元　二卷			
和歌俳句自修讀本（小學校中學校女學校）　森山右一　大正一四			
我輩の如く（人間萬事）　佐治實然　大正九			
吾輩の心身頑强法　黒田清　大正四			
我輩の世界統一論　成瀬正雄　大正八（「世界平和と國際聯盟」ト合綴）			
吾輩の見たる亞米利加　上、下編　保坂歸一　一、二版　大正三			
吾輩は馬である　エー・セウエル著　竹中武吉譯　大正二			
吾輩は結核黴菌である　角田隆　大正八			
我輩は孔子である　孔子の東京見物　贊田江東（剛橋）　大正三			
我輩は村落生活の立場より論ぜんとす　建部遯吾（財政經濟と生活問題「日本の生活問題」ノ内　大正三）			
吾輩は猫である　夏目漱石　大正七（漱石全集第一卷）			
同			
吾輩はフイルムである　活動寫眞雜誌編輯局編　大正六			

吾が防火週間　栃木縣警察部、同縣消防義會編　大正一一　一冊　三九七函　三二四號
我が紡績業と紡績株　田川義男　大正一一　一　五〇七　三五
和歌寶典　大正書院發行　大正三　二　三四〇　三三
第一編　詠歌入門（武島羽衣）
第二編　初學和歌談（同）
我か抱負　大木遠吉　明治四五　一　三三三　二八三
我發奮の動機　井上泰岳編　大正五　一　三六三　三六
吾母　川面凡兒　大正八　一○　一一九　一一五
若林志稿　石川源助編　寫本　一四枚　一○　一二七　三〇一
吾が半生　鹽見政次　大正六　一　三七二　二〇
我半生の筆　大町桂月　大正四　五〇六頁　一　三五七　一四
吾が非哲學　田中王堂　大正二　一　三四九　二〇一
和歌祕傳鈔　飯田季治　大正一一　一　五〇六　一〇四
我一幕物　森鷗外　大正元　一　三三八　一〇〇
和歌百話　佐佐木信綱　大正七　一　三七七　一二七
吾が日吾が夢　カアペンター著　宮島新三郎譯　大正一三　一　三九〇　七七イ
若夫婦の顧問　家庭研究會編　大正四　一○　二〇二　三四〇
わが文藝陣　菊池寛　一八版　大正一三（感想小品叢書第一編）　一　五一五　一一八
我ページェント劇　坪内逍遙　大正一〇　一　三九五　二一六
わがほとけ　乙二著　佐々醒雪、巖谷小波校（俳諧叢書第六冊俳人逸話紀行集ノ内　大正四）　三四五　四

我が墓標　水守龜之助　大正一五　一冊　五一七函　三九七號
和歌本式　猪苗代兼載（歌學文庫第八ノ内　大正二）　三三〇　一七
若松　大丸呉服店意匠部編　大正一五　一○　二〇三　一四五
若松縣布告集〔明治五年一一月至同六年六月〕　四○　一一六　二四一
若松市を中心としたる會津案内　菊池研介編　大正一一　一　三九六　三五七
若松市鄉土誌　福島縣若松市役所編　大正三　一　三四八　一六〇
若松市誌　福岡縣若松市役所編　再版　大正一〇　一　三九八　一五
若松市立會津圖書館一覽　同館編　大正三　一　二七八　二四
若松市立會津圖書館一覽　明治四五至大正三、五至一四年度　同館編　大正二至一五　七枚五　二七八　二四
若松と東山案内　生龜藤吾編　大正四　一　二一　三五八
吾が味方は正義　堀光龜（重大なる結果ノ内　大正一三）　五二三　一〇七
我が觀たる孔子　藤澤元造　大正一一　一　五一六　五四
我が見たる原首相の面影　田村直臣　大正一一　一　五一四　一三
我が觀たる滿鮮　中野正剛　大正四　一　三五六　八七
吾身の上の恥と損　加藤美侖　大正一一（ゼントルマン叢書第二編）　一　五一五　二一
我身のため　三卷（通俗經濟文庫卷一〇ノ内　大正六）　三五五　五三
我身の物語（ヘレン・ケラー自叙傳）　ヘレン・ケラー著　三上正毅譯　大正元　二　三三二　三三五
若宮論集　若宮卯之助　大正四　一　三六〇　九一
我民間工場の信管製造の狀況　勝田一（臨時產業調查局）調查資料第一五號ノ内　大正七）　一四、二イ　四一八

わが民族の理想　山本良吉　大正一〇　一　五〇三　一四
我民本思想（日本國民は是丈―を心得おくべし―）　佐々木臥山　大正八（國民叢書第一編）　一　三七五　三六
わが無抵抗主義　トルストイ著　木村毅譯　大正一四（トルストイ著作選集第一輯）　一　五三九　四二
我が村（公民物語―）　森垣太郎　大正一二　一　五三三　六
わか紫　泉鏡花（鏡花全集第六卷ノ内　大正一四）　五二〇　四四
同　五二〇　四四イ
若むらさき　津田かみはや（國書刊行會本三十輻第三ノ内　大正六）　三三〇　五一
若紫江戶子曾我（芝居繪本第七）　特一○　京　三七六
我が村の過去（地方改良劇―）　小倉瀧藏　大正一〇　一　三九六　一四九
和歌名所めぐり　佐佐木信綱編　大正八　一　三八八　一三八
若紅葉　松屋呉服店意匠部編　大正六　一○　四一八　三
和歌山高等商業學校一覽　第一至四年度（大正一二至一五年）　同校編　大正一二至一五　四　二九三　三
和歌山縣有田郡誌　同郡役所編　大正四　一○　二〇二　三五五
和歌山縣串本町誌　同町編　大正一三　一　五一九　一四七
和歌山縣會史　第二編　同縣編　大正一一　一　一四、三　七八
和歌山縣原蠶種製造所農事講習所事業成績報告　第四號　同所編　大正一一（第五號ヨリ「和歌山縣蠶業試驗場農事講習所事業成績報告」ト改題）　一　一四、三イ　一七五イ
和歌山縣虎列剌病流行誌　大正五年　同縣編　大正七　一　一四、六ハ　一〇二
和歌山縣蠶業試驗場農事講習所事業成績報告　第五號　同所編　大正一二（「和歌山縣原蠶種製造所農事講習所事業成績報告」ノ改題、「和歌山縣蠶業試驗場報告」ト改題）　一　一四、三イ　一七五イ

和歌山縣蠶業試驗場報告　第八號　同場編　大正一五（「和歌山縣蠶業試驗場農事講習所事業成績報告」ノ改題）　一　一四、三イ　一七五イ
和歌山縣產業獎勵方針調查書　同縣編　大正二　一　一四、三イ　三二八
〔和歌山縣〕蠶業取締事務成績　大正元至八、一〇、一一年度　同縣蠶業取締所編　大正二至一二（「〔和歌山縣〕蠶病豫防事務成績」ノ改題）　九　一四、三イ　一五六
和歌山縣蠶絲業一斑　同縣蠶業取締所編　大正一四　一　五一八　一五七
〔和歌山縣〕蠶病豫防事務成績　明治四三、四四年度　同縣蠶病豫防事務所編　明治四五、大正元（大正元年度ヨリ「〔和歌山縣〕蠶業取締事務成績」ト改題）　二　一四、三イ　一五六
和歌山縣誌　渡邊幾治郎、樋口功編　大正三　二六三〇頁　二　三四八　二三五
和歌山縣事業總覽　竹内良雄編　大正一三　一　五二八　五八
和歌山縣史蹟名勝天然紀念物調查會報告　第三輯　同縣編　大正一三　一　一四、五　一〇三
和歌山縣實業參考錄　松本作藏、安中莊太郎編　大正一〇　一三〇九頁　一　五〇九　八
和歌山縣社會教育要覽　〔第一〕至三輯　同縣社會課編　〔大正一〇〕至一三　三　二七五、六　一六
〔和歌山縣〕人口靜態統計　大正二年　同縣編　大正五　一　一四、四　三四二
和歌山縣人材錄　前編　山崎傳之助編　大正九　一　三八三　一一四
和歌山縣勢一斑　大正六年　同縣編　大正八　一　一四、四　三一イ
和歌山縣統計書　明治四四至大正二、四至一三年　同縣編　大正二至一五　一三　一四、四　三一
和歌山縣那賀郡誌　上、下　同郡役所編　大正一一、一二　二　三九八　一二一

		冊	函	號
和歌山縣西牟婁郡三栖村郷土誌	山本喜平編 大正四	一	三四	二八四
和歌山縣農事試驗場成績	大正九至一一年度 同場編 大正一三	三	雜三九	四六
和歌山縣日高郡誌	同郡役所編 大正一二	一	五一九	一〇
和歌山縣民力涵養施設狀況	同縣編 大正九	一	三七二	三七九
和歌山縣立農事講習所報告	原蠶種製造所 自大正二年四月至七年三月 同所編 大正七	一	一四、二 イ	一七五
和歌山縣立圖書館鄉土誌資料圖書目錄	第一號 同館編 大正一二 増補	一	三七	二七
和歌山縣立圖書館和漢圖書分類目錄	大正元年一〇月現在、大正元年一一月至四年三月増加 同館編 大正二、五	一	三七	六二
和歌山縣立農事試驗場彙報	同場編 大正七	一	一四、二 イ	三三
第一號 主要病蟲害防除劑				
和歌山縣立農事試驗場要報	同場編 大正一二	一	一四、二 イ	三三 イ
第七號 改良農具に關する試驗研究の三				
〔和歌山縣立農事試驗場〕業務功程	明治四四至大正四年度 同場編 明治四五至大正五		五	一四、二 イ 三三一
和歌山史要	和歌山市役所編 大正四	一	三四八	三二〇
同		一	三四八	三二〇 イ
同 補再版	大正九	一	三四八	三二〇 ロ
和歌山市統計書	大正三至八年 同市役所編 大正四、一〇	二	一四、四	二四一
和歌山市の經濟力	中卷 同市役所編 大正七	一	三二六	三一五
和歌山大觀	南浦正吉編 大正四	一	三三七	二一七

		冊	函	號
和歌山遊覽案內地圖	鬚々堂旅行案內部製 大正九 一・二×一・七	一枚	三三九	一〇八
我か往く處	岡本米藏 大正八	一	三八七	一六
我が勞働黨	小野清秀 大正一四	一	五四六	六七
わからずや	二葉亭四迷（二葉亭全集第四卷ノ內 大正二）		三三九	四六
和歌流式便覽	小野利教編 大正七	一〇	一八六	三一〇
わかりやすい蠶蛾雄鑑別の話	工藤齋（農家經營叢書第六編） 大正六	一	三五	二五三
わかりやすい金肥活用の話	工藤齋（農家經營叢書第八編） 大正八	一	三五	二五三
わかりやすい種苗鑑定の話	工藤齋（農家經營叢書第九編） 大正九	一	三五	二五三
わかりやすい堆肥製造の話	工藤齋（農家經營叢書第三編） 大正五	一	三五	二五三
解り易い電氣學講義	城北堂發行 大正一四	一	五三九	六一
第一卷 磁氣及磁鐵篇	（日本電氣學講習會編）			
わかりやすい土壤鑑定の話	工藤齋（農家經營叢書第五編） 大正六	一	三五	二五三
わかりやすい肥料計算の話	工藤齋（農家經營叢書第一編） 大正四	一	三五	二五三
解り易いメンタル・テストの理論と方式	松井詮壽 大正一三	一	五一〇	一〇三
分り易き住宅組合法詳解	相馬昌三、菊池武夫 大正一一	一	五〇三	九三
分り易き木材立木尺メ計算法	上原敬二 大正八	一	三八六	八〇
同 訂三版	大正九	一	三八六 イ	八〇
別るまで	田山花袋（花袋全集第四卷ノ內 大正一三）		五一五	三六
わかれ	ホルツ、シュラーフ著 森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內 大正一三）		五二〇	一

		冊	函	號
わかれ	ホルツ、シュラーフ著 森鷗外譯（鷗外全集第一六卷ノ內 大正一三）		五一〇	一イ
同	（世界短篇小說大系獨逸篇ノ內 大正一五）		五三〇	四五
わかれ蚊帳	尾崎紅葉（尾崎紅葉全集第二卷ノ內 大正一五）		五四八	一七
同	（紅葉全集第一卷ノ內 一二版 明治四五）		七四	三四六 ハ
同			七四	三四六 ニ
我が歷史觀	平泉澄 大正一五	一	一五五四	一三
別れてから	田山花袋（花袋全集第四卷ノ內 大正一三）		五二五	三六
別れも愉し	ルナアル著 岸田國士譯（フランス文學の叢書劇の部第三編ノ內 大正一四）		五三九	四八
和歌論戰（口譯）	西田舜瀾 大正一〇	一〇	一二	五〇四
和顏愛語	釋宗演 大正八	一	二八八	七
和顏愛語	豐岡博道（修養講話ノ內 大正四）		三四九	三五
和漢醫學分類處方集	淺田賀壽衛編 大正一一	一	五〇	二四七
和漢醫籍小觀	佐藤恒二編 大正二（醫海叢書第六編）	一	六〇	三一五
和漢英對照文法	田森長次郎 大正二 五二六頁	一	三五〇	一四
和漢賣藥製劑篇	赤木勘三郎編 大正三	一	五〇	八五 イ
和漢雅俗いろは辭典	高橋五郎著 濱野知三郎補訂 增訂改版 大正二	一	二〇	九〇 ハ
和漢合鑑本草	後藤彥（國書刊行會本三十輯第三ノ內 大正六）		三三〇	五一
和漢合圖拔萃	（續群書類從第三〇輯ノ上雜部ノ內 大正一四）		八〇	二三 イ
和漢新式實用辭典	友田宜剛編 明治四五	一	八五	二一九

		冊	函	號
和漢兼作集	珍書同好會發行 謄寫版〔大正五〕			一〇三
和漢古今禪門佳話	菅原洞禪（禪門叢書第九編） 大正六	一	三三五	三七 ぬ
和漢古錢通	未脫銅臭齋編 大正五	一〇	一八六	一九〇
和漢詩文隨手錄	岡本保孝自筆稿本 寫本（況齋隨筆第八冊）	特一〇	八三一	二一
和漢生藥攬要	木村雄四郎 大正一四	一	五〇	二七六
和漢書道史及書論	橋本廣一 大正一四	一	五四一	二七
和漢處方素人醫學	淺田因伯譯 同賀壽衛編 大正五	一	六〇	三七三
和漢抄	行成卿眞跡 博文堂編 大正一一	帖一	一三七	一八五
和漢泉貨年表	寫本（榮壽堂錢譜第一冊）	特一〇	一二四	三三四
和漢禪刹次第	（續群書類從第二八輯ノ上釋家部ノ內 大正一五）		八〇	三二 イ
同			八〇	三二 イ
和漢圖書分類表	東京市立圖書館編 大正一五	一	二七八	一〇二
和漢法書展覽會記念帖	山本由定編 大正三	一〇	四〇四	一五三
和漢美術鑑定全書	東京美術刊行會編 大正八	一八〇	一九五	一八五
同		特一八〇	一九五	一八五 イ
和漢筆道手習指南	浪花隱士（婦人文庫第三回節用ノ內 大正三）		三四〇	三七 は
和漢文操	各務支考編（藤井紫影、武笠三校 大正一一		五一七	八四
和漢名畫選	村山旬吾編 再版 大正六	特一〇	四〇四	五八 イ
和漢名畫百種（原色）	星野錫編 大正六	特一	四一	四三

		冊	函	號
和漢名士參禪集	忽滑谷快天 大正四（禪門叢書第一編）	一	三三五	三七八い
和漢名詩詳解	大町桂月 大正一〇	一	三九六	一四六
和名詩類選評釋	簡野道明 四版 大正四	一	三五七	三六
和漢英哲年齡便覽	寫本	一〇	一三六	二三九
和漢家屋諸造作應用圖案	下卷 森田洪 大正元	一	四〇八	三五
和漢洋式建具指物模様雛形集	宮崎喜代松編 大正七	二	一〇	二九三
和漢藥考	後編 小泉榮次郎編 增訂再版 大正一一	一	四四	一〇六イ
和漢藥治療要解	鵜飼禮堂 大正六	一	六〇	三七七
和漢藥提要	米谷楠治郎編 大正七	一	五〇	一九四
和漢藥の良否鑑別法及調製方	一色直太郎編 大正五	一	五〇	一五六
和漢藥物學	日野五七郎、一色直太郎 大正七	一	五〇	一九八
和漢藥療法の話（有効一）	岡崎桂一郎 大正六（家庭醫學叢書第三五編）	一	六〇	五二一
和漢朗詠集	倉田實編 大正八	特一	〇 四八	五九
倭漢朗詠集 上	藤原行成書 倉田實編 大正一三	一	〇 六三	九八
倭漢朗詠集考證	柿村重松 大正一五	一	五三一	六〇
倭漢朗詠集抄	藤原行成書 文化學院編 大正一三	一	〇 一九二	一五三
和漢靈藥集	本草研究會編 大正一五	一	五〇	二八九
和紀記行	岡西惟中（むかしの跡河内磯長地方之部附錄ノ内 大正二二）		二九三	五四五
吾妹叢書	フランス音詩社發行 大正一四	一	五四八	一五
和氣絹	高木太亮軒 三卷（吉備群書集成第一輯ノ内 大正一〇）		三九九	一四
湧ける寶（學術之光 生活改造一）	帝國學術實地研究會編 大正九	一	三八五	八三
倭寇	長谷川正氣 大正三	一	三四八	一四六
倭寇に就て	幣原坦（續史的研究ノ内 大正五）		三四八	二〇五
倭寇碑拓本		一〇	二三四	一四三
和國御翠殿	（國書刊行會本德川文藝類聚第六脚本上ノ内 大正四）		三三〇	四九ろ
和國諸職繪盡	菱川師宣畫（日本風俗圖繪第二輯ノ内 大正三）	特	一九五	一七六
同			一九五	一七六イ
和國ひいながた大全	後藤博山編 大正一一（複製）	二	〇 一四六	二八五
和國百女	菱川師宣畫（日本風俗圖繪第一輯ノ内 大正三）	特	一九五	一七六
同			一九五	一七六イ
和國名所鑑	菱川師宣畫（蜀山人ノ題簽アリ）	一〇	別 七	五〇三
和語聖教目錄	惠琳（眞宗全書續編第二六卷ノ内 大正五）		三四六	七
和魂漢才說	加藤仁平 大正一五（日本教育思想史の研究第一卷）	一	五五	三
和琴血脈	（續群書類從第一九輯管絃部ノ内 大正元）		八〇	三一
宣傳講談乃木傳	和魂 桃川若燕 大正九	一	三九	三〇〇
話材教材	加藤唱堂編 大正七	一	三七六	二三一
和莊兵衞（異國一奇談一）	遊谷子 四卷（國書刊行會本德川文藝類聚第三遍歷小說ノ内 大正四）		三三〇	四九ろ
和莊兵衞後編（異國一再見一）	四卷（國書刊行會本德川文藝類聚第三遍歷小說ノ内 大正四）		三三〇	四九ろ
俳優風（狂歌評判一）	四方赤良等 三卷（演劇文庫第二編ノ内 大正三）		三〇	三〇
山葵栽培法	堀江茂一 大正八 四二頁	一	三七三	三五六
山葵の作り方	附 重要蔬菜栽培法 蔬菜園藝研究所編 大正一五	一	五六三	二
和算書目錄	和算史調査會員編 大正一五	一	五六三	四一
和讃二十五題	鷲尾順敬等註（國文東方佛教叢書第八卷歌頌部ノ内 大正一四）		五三九	六七
和讃略釋（高僧正像未一）	平安專修學院編 大正一五	一	五二一	一四三
和州久米寺流記	（續群書類從第二七輯ノ下釋家部ノ内 大正一五）		八〇	三二一
同	（大日本佛教全書第一二九册ノ内 大正四）		三五三	一〇
鷲夫歌集	大倉鷲夫（近世萬葉調短歌集成第二卷ノ内 大正一五）		五四四	四三
和字解	貝原篤信（國書刊行會本三十輯第四ノ内 大正六）		三三〇	五一
わしが國さ	伊藤金次郎 大正一五	一	五五六	一四七
わしも知らない	武者小路實篤（現代戲曲全集第七卷ノ内 大正一四）	一	九六	五一七イ
同	（村の本第八篇ノ内 大正一五）		一四三	一七
話術の研究	岡柳惟一 大正三	一	五四四	三九
和紙標本（帝國一國産一）	土佐紙業新聞社編 大正一四	一〇	四三三	一六六
同	大正一五	一〇	四三三	一六六イ
わしも知らない	武者小路實篤（現代戲曲全集第七卷ノ内 大正一四）		五二〇	三五
同	（村の本第八篇ノ内 大正一五）		五五〇	五三
話術の研究	岡柳惟一 大正三	一	三五〇	二六六
和紙紙質試驗報告	森嘉吉（東京工業試驗所報告第九回ノ内 大正四）	一	四三	二七
鷲の巢	ラスキン著 栗原古城譯 大正一四	一	五四四	三九
和紙標本（帝國一國産一）	土佐紙業新聞社編 大正一四	一〇	四三三	一六六
同	大正一五	一〇	四三三	一六六イ

	冊	函	號
ワシントン一代記　宮地猛男(竹峯)　大正二	一	三五〇	一八
華盛頓會議と永久平和　常田力　大正一一	一	五〇二	六六
華盛頓會議と軍備制限　尾崎行雄(軍備縮小講演集第一輯ノ内　大正一一)		三一八	四七二
華盛頓會議に際して　朝日新聞社編　大正一〇(朝日講演集第六輯) 華盛頓會議に就いて(末廣重雄) 會議の目的と國民の覺悟(尾崎行雄) 軍備縮小と國民教育(高原操) 大艦無駄骨論(マーク・ケーア)	一	三三五	三三三
華盛頓會議之眞相　小松綠　大正一一	一	四五	六一五
華盛頓州獸疫及畜牛結核病豫防規則　北米聯絡日本人會編　大正四	一	三三七	三三
華盛頓に於る日本の敗戰　英米爭覇の犧牲　渡邊巳之次郎　大正一一	一	五〇二	六三
ワシントンネーブルオレンヂの調査　高橋郁郎編　大正一三(〔農商務省〕園藝試驗場調査報告第二號)	一	一四、二イ	五四七
ワシントン物語　野邊地天馬　大正九	一	三八四	二五九
忘られぬ一夜　デッペ著　甲賀三郎譯(世界短篇小説大系探偵家庭小說篇ノ内　大正一五)		五二〇	四五
勿忘　丸山浦次郎編　大正一〇	一	三九七	二五七
忘れがたみ　菊池幽芳(幽芳全集第一一巻ノ内　大正一三)		五一五	一二七
同	特	五一五	一二七イ
忘れのさみ　和田きくゑ編　大正一〇	一	五〇一	一六五
忘れがたみ(小說)　大江素天　大正三	一	三三九	三二六
萱草(續群書類從第一七輯連歌部ノ内　明治四五)		八〇	三二一

	冊	函	號
忘れた言葉　ヘンリー・ヴァンダイク著　伊藤宗輔譯　大正一五	一	五五〇	一四五
忘れて來たシルクハット　ダンセーニ著　森鷗外譯(鷗外全集第一三巻ノ内　大正一三)		五二〇	一
同	特	五二〇	一イ
忘れぬ人々　無憂樹　大正一三	一	五二五	一四八
和西會話辭典(いろは音引)　村岡玄　大正一四	一	三三三	六五九
早稻田講演時局研究號　早稻田大學編輯部編　大正六 國際政局の現在及將來(浮田和民) 戰局と列國經濟界(井上辰九郎) 船舶の進化と海商法(市村富久) 人類及其進化(谷津直秀) 最近教育思潮と教育の實際(中島半次郎)	一	三五六	二九五
早稻田學園　早稻田大學編　大正一三	一	二八二	三一
早稻田生活　南北社發行　大正二	一	三五〇	六九
早稻田清話　大隈重信著　相馬由也編　大正一一　五二〇頁	一	三九四	二三九
早稻田叢誌　早稻田大學發行　第一輯(大正八年三月)至第三輯(大正九年七月)	一	雜 五六	三一
早稻田大學一覽　同學編　大正三	一	二八二	一九
早稻田大學高等豫科、商科、法科、政治經濟科試驗問題集　大正三、四年度　中村宗治郎編　大正四	一	二五九	三三一
早稻田大學故大隈總長紀念大講堂競技設計圖集　同紀念事業部編　大正一二	一	五〇九	九六
早稻田大學創業錄(三十年記念)　同學編輯部編　大正二	一	二八二	一八
早稻田大學創立三十年祝典記念帖　同學出版部編　大正二	一	三三七	一五二

	冊	函	號
早稻田大學新圖書館に就て　並早稻田新圖書館建設の感想(今井兼次)　内藤多仲　大正一五	一	二七八	一〇四
早稻田大學圖書館一覽　同館編　大正一五	一	二七八	一一
早稻田大學圖書館和漢圖書分類目錄　第二(哲學之部)、第一三(法律之部)　同館編　大正一三年三月現在　大正一四、一五	二	五六三	四三
早稻田大學入學案内　大正一二年度　附　最近三ヶ年間試驗問題及模範解答　中野勝雄編　大正一二	一	二八二	三〇
早稻田大學野球部史　飛田忠順　大正一四	一	五四一	三一
早稻田の今昔　早稻田大學編　大正一一	一	二八二	二七
早稻田法學　同會發行　第一巻(大正一一年一二月)ヨリ〔第四巻缺〕		雜 二一	一四五
早稻田文學パンフレット　春秋社發行　大正一二、一三 第一編　東西の煽情的悲劇(坪内逍遙) 第二編　平家物語の新研究(五十嵐力) 第三編　唯美主義者オスカア、ワイルド(本間久雄) 第四編　自然美論(吉江喬松) 第五編　婦人運動の諸相(原田實) 第六編　希臘劇、沙翁劇、近代劇(中村吉藏) 第七編　江戸文學と都市生活(山口剛) 第八編　日本の神話と宗教思想(西村眞次) 第九編　近代文學に現れたる神愛、自然愛、人間愛(木村毅) 第一〇編　神秘思想と近代詩(日夏耿之助) 第一一編　芭蕉の自然觀(荻原井泉水) 第一二編　藝術の暗示と恐怖(小川未明) 第一三編　福太郎と幸兵衞の對話(生方敏郎)	一三	五一五	九五
早稻田文藝大觀　實業之日本社發行　大正一二 第一巻　小說集　上巻(長谷川天溪等編)	一	五一五	八六
早稻田物語　赤木光二郎　大正六(學生生活叢書第四編)	一	二五九 五	四〇
和戰失得辨　清水正巡(夢界叢書ノ内　大正二)		三三九	三二三

	冊	函	號
和田嚴足と其の家集　彌富破摩雄　大正一五	一	五五一	四四
和唐珍解　唐來參和(國書刊行會本德川文藝類聚第五洒落本ノ内　大正三)		三三〇	四九ろ
和田垣教授在職二十五年記念經濟論叢　矢作榮藏編　大正三　六九四頁	一	三五二	三九
和田垣博士傑作集　大町桂月編　大正一〇　八〇九頁	一	五〇一	一七五
和田垣博士の兎糞錄　蘆川忠雄　大正一三(修養資料達人達觀ノ内)		五二五	一五五
和田合戰女舞鶴(時代狂言傑作集第三巻ノ内　大正一五)		五四五	一六
私を過ぎた青年たち　淺山尙　大正一三	一	五三六	三五
私たちの學校と其研究(教育問題研究臨時增刊)　教育問題研究會編　大正一五	一	二五三	三三九
私達の問題　三宅やす子　大正一三	一	五三五	六九
私と妻と子供の肺病を全治した方法　芙蓉山人　大正一一	一	五三	一九二
私ともの主張　有島武郎等　大正一〇	一	五〇三	二六八
私の行脚　天野弘一　大正一三	一	五三五	九
私の一生　芹澤半藏　大正四	一	三三九	六四八
私の犬　マアテルリンク著　灰野庄平譯　大正九	一	三九一	二五二
私の英國の友人　リー著　牧一譯　大正一五　七〇頁	一	五五〇	七四
私の英國發見　スチーヴン・リーコック著　石田新太郎譯　大正一三	一	五三二	五七
私の教へるヴィオリンの奏き方　レオポルド・アウエル著　菅野哲三譯　大正一二	一	五一三	一〇八
私の學校訓育(新時代に適應せる)　安部清見　大正一五	一	二五三	三四五
私の畫集　一九二五年第一　蕗谷虹兒　大正一四	一	五一六	二九〇

		冊	函	號
私の教育	本間俊平 大正一二	一	三五三	二八二
私の教育記錄	池田小菊 大正一四	一	二五九	五二
私の國語教育帳	上、下卷 千葉春雄 大正一三、一四	二	二六三	一九三
私の心と其環境	浦瀨白雨 大正一一	一	五〇六	二六
私の懺悔	トルストイ著 細田源吉譯 大正一一 九六頁	一	五〇四	六〇
同	（トルストイ全集第五卷ノ內 大正八）		三九〇	三九
私の宗教	小笠原譽至夫 補再版 大正一四 七四頁	一	三九三	七四一
私の宗教	本間俊平 大正一二	一	五〇四	三七
私の志向する讀方教授	千葉春雄（最近思潮教育夏季講習錄大正一一年度ノ內 大正一二）	一	三五八	三九
私の詩書集	蕗谷虹兒 大正一四	一	五一六	三六八
私の實驗安産と育兒	吉岡彌生 大正一〇	一	五六	一六五
私の唱歌教授	幾尾純 大正一三	一	二六三	一九八
私の寫眞	三宅克己 大正一二	一	五一三	一四八
私の推奬したき圖書	（一般、青年、婦人、少年に）奈良縣立奈良圖書館編 大正一四	一	三九三	八〇〇
私の生活と藝術	高群逸枝 大正一一	一	五一七	四
私の生死	山中峯太郎 大正一二（如來叢書第一集）	一	五一五	一〇六
私の綴方教授	友納友次郎 大正一〇	一	二六三	一五七
私の讀本教育（國語教育の眞生命）	友納友次郎 大正一五	一	二五三	三四八
私の花環	生田春月譯 大正九	一	五一四	一八
私の歐米の美術	三尾邦三（春海熊三） 大正一二	一	五一四	一八イ
同	三版 大正一二	一	五一四	一八イ
私の觀た現代の大作曲者	山田耕作 大正一三	一	五一三	二八六
私の觀たる歐洲文樣美術	宮下孝雄 再版 大正一三	一	五二八	二七
私の觀たる弘法大師	永田秀次郎 大正一五	一	五三三	二三八
私の娘	フオンウヰジン著 尾瀨敬止、中村莊太郎譯 大正一〇	一	五〇一	七三
私の理科教育	關原吉雄 大正一四	一	二六三	二四
私の理化實驗室と工場	井田靜夫（少年理化叢書第一編） 大正一〇	一	五〇〇	四九
私は生きてゐる	沖野岩三郎 大正一四	一	五三八	三三〇
私は斯くして肺病を全治した	原榮編 大正一〇	一	五三	一八一
私は豚	北村大作 大正九	一	二八六	二〇〇
綿細工指南	佐竹精（家庭百科全書第四八編） 大正二	一	二一六	二九六
和田稻麥作多收穫農法	和田仁三郎 六版 大正一〇	一	二一	四二三
和田米麥作多收穫農法	和田仁三郎 一二版 大正一三	一	二一	四二イ
渡場一件諸書留	寫本（明和天明頃ノ六鄕川渡場記錄ナリ）	二	二一六	二四五
渡守	中野實（ふたば集第五卷ノ內 大正一四）	一	二九六	三
和田先生醫談	和田泰純著 荒川春安記 寫本 天保一〇	一	二一	二九八
和田先生醫談	和田泰純著 公季記 寫本 慶應二（「泰中先生ヨリ記聞」、「福井先生ヨリ記聞」トヲ附セリ）	一	二一	三三三
和田村史	中西龍太郎等編 大正一四	二	一六六	三三
和田豐治氏と其の言行	矢野政二（滄浪） 大正一三	一	五一四	二四三
和田豐治傳	喜多貞吉編 大正一五	一	五三四	一六九
渡部斧松	村井良八 大正四	一	三四八	二七五
渡邊幸庵對話	杉木養隣（國書刊行會本三十輯第四ノ內 大正六）		三三〇	五一
渡邊琴臺傳	今田哲夫 大正一二 六〇頁	一	五一四	五三
渡邊畢山	笹川臨風 大正一〇	一	三九四	二五
渡邊畢山	渡邊畢山畫 新古畫粹社編（新古畫粹第二編） 大正八	一	四二一	一
渡邊華山（立志教訓）	聖堂學人 大正七	一	三七六	六九
渡邊畢山言行錄	堀江秀雄（修養史傳第二二編） 大正六	一	三五五	一七
渡邊華山百話	大庭三郎編（教訓叢書ノ內） 大正六	一	三四〇	二八
渡邊推庵遺像裏書	南部晉編 寫本 一三枚 繪入	特一	八三〇	一三七
渡邊水庵覺書	渡邊勘兵衞記、渡邊事記（續群書類從第二〇輯ノ下合戰部ノ內 大正一二）	一〇一	八〇	三二イ
渡邊南岳四季艸花繪卷	解說付 渡邊南岳畫 巧藝社編 大正一〇	一〇一	二	九
渡邊彦太郎翁傳	村井良八 大正六	一〇一	一五	三七
棉の炭疽病に關する研究	中田覺五郎、瀧元清透（朝鮮總督府）勸業模範場研究報告ノ內） 大正六	一	一四二	二一〇
綿吹介殼蟲驅除報告	岡山縣編 明治四五	一	三四四	一七
和田守新記憶法	和田守菊次郎 大正四	一	三六〇	二一〇
亘理家譜	坂元補編（仙臺叢書第九卷ノ內 大正一四）	一	五〇八	三
渡り鳥日記	松本亦太郎 大正六	一	三六三	五四
倭紂書	（國書刊行會本列侯深秘錄ノ內 大正三）	一	三三〇	四九
ワッセルマン氏黴毒血清診斷法	阿久津三郎等編 明治四五 日本電氣工藝委員會編 大正一五（電氣計器標準仕樣書報告第三回）	一	五七	二九
「ワット」時計標準仕樣書	（獨逸語研修別冊） 橋本忠夫 大正七	一	三三七	四二七
和獨語彙	田山花袋（花袋全集第三卷ノ內 大正一二）	一	三三三	一〇九
罠	井關十二郎譯（秘訣一） ワナメーカー著 大正一五	一	五一五	三六
ワナメーカー寶典	織井今朝十（廉之）編 大正一〇	一	五六四	四八
和也	ドストイエーフスキー著 關口鯛作譯（ドストイエーフスキー全集第一二卷ノ內 大正一一）	一	五〇三	四五
鰐	ドストイエフスキー著 森鷗外譯（ドストイエフスキー全集第二卷ノ內 大正一五）	一	三七五	四七
同	（泰西名著文庫諸國物語ノ內 大正四）	一	三七五	四七イ
鱷	スタンダアル著 井上勇譯（世界短篇小說大系佛蘭西篇上ノ內 大正一五）	一	三四五	一二ほ
ヴニイナ・ヴニイニ	佐藤春夫（代表的名作選集第四三編ノ內 大正一五）	一	五三〇	四五
王仁蒙古入記	上野公園 大正一四	一	五三一	七八
佗しすぎる	清吉の愚癡 脈生家の誕生日 指輪	一	七一	六〇〇
佗しすぎる	佐藤春夫 大正一二	一	五三	五九
和文英譯規範	ゴールデン、デイーヅ 村井知至 大正一五	一	三三	七三六
和文構文の新研究	佐川春水、鈴木芳松 大正一〇	一	三三三	四〇〇

		冊	函	號	
和文英譯正解と作例（誤譯訂正ー）	ホドソン、石原益治 大正七	一	三三	二六七	
和文英譯の急所 附 日記履歷書手紙書方	住友彦太郎 大正一四	一	三三	六〇四	
和文英譯の研究	佐藤保胤 大正一五	一	三三	六九七	
和文英譯の新研究	東京外語學校英文研究會編 大正一五（英語研究叢書ノ内）	一	三三	七二〇	
和文英譯臨床講義	鈴木芳松 大正一三	一	三三	五七三	
和文支那譯研究	米田祐太郎 大正一一	一	三三	四三九	
和文電報暗號（誤謬連斷ー）	中村幹治 大正五	一	三三七	二四三	
和文獨譯法（應用ー自在ー）	西岡俊雄 大正三	一	三三	六七	
和文獨譯法（公式ー應用ー）	粕谷眞洋 大正六	一	三三	二四一	
同 大正一五（粕谷獨逸語學叢書第二卷）		一	三三	七三五	
和文佛譯法（例解ー）	板倉貞男 大正一二	一	三三	四九〇	
同 大正一四		一	三三	五九九	
同		一	三三	五九九	イ
倭名類聚鈔	源順著 橫山由清自筆校 寬文七	特 五	〇	八三〇	一六九
倭名類聚鈔（國寶寶生院藏ー）	附 紙背文書 古典保存會編 大正一五（複製）	二	一三九	二九七	
和名類聚抄校譌異體字辯	並 附錄 正宗敦夫編 大正七、八	二	一四七	三三四	
倭名類聚鈔抄	（房總叢書第二輯地誌及紀行ノ内 大正三）		三五三	一	
和洋衣服洗濯法	日本家庭染色普及會編 大正七	一	三	五九三	
和洋おさいく物新書	梶山彬 明治四五	一	三三四	九七	

		冊	函	號	
和洋家具製作法并圖案	小泉吉兵衞 大正二	一	四〇	四四	
和洋家庭簡易料理	赤堀峯吉、同菊子 大正二	一	八八	三四五	
和洋季節料理（趣味と滋味のー）	手塚かね子 大正一五	一	五四七	九七	
和洋草花變映培養法	井上正賀 明治四五	一	三三	二五三	
和洋草花趣味の栽培	前田次郎 大正七	一	三六一	二九三	
和洋菓子製造大鑑 附	全國菓業社名鑑編 大正一四 東洋製菓新報社	一	五三七	二六	
和洋菓子製法講習錄	第一輯、續篇 大正五、九 松田唉太郎	二	三四	三五	
同 第一輯 三版 大正七		一	二四	三五	イ
和洋菓子大觀	東洋製菓新聞社編 大正七	一	三七一	九九	
和洋建築及彫刻	朝倉文夫 大正一二（書畫骨董叢書第一一卷）	一	三九九	一	
和洋建築規矩術	津田信良 明治四五	二	三四二	九〇	
和洋建築設計製圖	木檜恕一 一三版 大正一四	一	三六五	三二	
和洋建築設計製圖と青寫眞の作り方	其畑源治 大正一五	一	五六三	六	
和洋建築設計圖會	遠藤於菟編 大正三	一	四二〇	一六	
和洋造庭花卉園藝 最新	田中萬逸 大正二	一	三四九	七七	
和洋裁縫教本	洋服編 上、下 堀越千代子 大正三、四	二	三三〇	二三六	
和洋裁縫小物集（小兒實用ー）	伊澤峯子 大正六	一	三七	一〇二四	
和洋裁縫斷教授書	魚住清記 大正五	一	四〇六	七〇	
和洋紙加工製作法	佐瀨文哉 大正九	一	三九五	三三	

		冊	函	號	
和洋四季の花壇自在 附	花壇向花卉の撰擇、開花期及栽培法 萬代虎藏 大正二	一	八八	三五三	
和洋四季辨當料理の數々	西野みよし 大正五	一	七〇	二四〇	
和洋水泳術	引田梅里 大正一三	一	五一六	二五三	
和洋折衷の住宅	長谷川眞治 大正九	一	三八一	六〇	
和洋建具模樣雛形	菊池勇 大正二	二	〇	六七	三四三
和洋住宅建築集成（模範ー圖說ー）	近間佐吉 大正九	一	三八一	九七	
和洋花の園藝 附錄	窓前園藝 北村東紅（家庭百科全書第四四編） 大正元	一	一六	二九六	
和洋袋物細工	村井秋翠、木村俊臣 大正九	一	〇	一二	三五六
和洋木造家居構造圖解	北與惣松、加瀨正衛 大正七	二	三六五	一二四	
和洋料理四百種（美味で經濟な） 附	食用化學の常識 乙子、磯野忠雄 大正一三	一	五一三	二六五	
和洋料理の極意皆傳	服部茂一 大正一〇	二	三九五	九三	
和洋料理の仕方（新しき研究ー）	村井政善 大正一一 七六二頁	一	三九五	二三一	
和譯詳註碧巖集	小鹿青雲譯註 大正三 八一〇頁	一	三三四	四二〇	
和譯淨土三部經（原文對照ー）	伊藤精次 大正一〇	一	三九二	二一九	
和藥出產揃	東桂武犀（國書刊行會本三十輯第二ノ内 大正六）		三三〇	五一	
和譯碧巖錄（評ー註ー）	加藤熊一郎（咄堂）譯註 大正二	一	三三五	一九六	
和譯孟子	三島章道 大正七	一	三一	八一三	
藥工業と斷片織機	寺島昇 二〇頁	一	三九七	四〇四	
藥工業に關する調査	富山縣內務部編 大正一一（同縣副業資料其一）	一	五一八	一五	

		冊	函	號	
藥工品ニ關スル調査	農商務省農務局編 大正九（副業參考資料第四）	一	一四	四五二	イ
藥細工（手工教育農業教育ー）	小泉吉兵衞、堀卯三郎 大正七	一	二六三	一四一	三
わらぢのあと（名勝紀行ー）	桑田春風編 大正一一 五一〇頁	一	三九六	二七九	
草鞋の旅	谷口梨花 大正一〇	一	三九四	一三一	
藥人形	岩野泡鳴（泡鳴全集第四卷ノ内 大正一〇）		五〇〇	一	
笑	アルチバシエッフ著 森鷗外譯（泰西名著文庫諸國物語ノ内 大正四）		三四五	一三	ほ
笑ひ	菊池寬（菊池寬全集第三卷ノ内 大正一一）		五〇五	二三	
笑かほ	安藤商店意匠部編 大正一四	一	四二〇	八六	
笑ひきれぬ話	畑耕一 大正一四	一	五四四	一三六	
笑草	三國幽眠 寫本（幽眠ノ遺稿始メヲ錄セリ）	特 一	八三〇	一五八	
笑ひと涙	田淵靜緑 大正六（大正布教文庫第一編）	一	三九〇	一	
笑と笑の藝術	住谷穆 大正一五	一	五四七	二三七	
笑ひながら覺えられる笑ひながら修養になる 假名づかひ	宇田四郎 大正七	一	三三三	二九九	
笑の研究	ベルグソン著 廣瀨哲士譯 大正三	一	五三六	一九一	
笑の哲學	ベルグソン著 廣瀨哲士譯 大正一三	一	三五〇	二八三	
笑の王國	佐々木邦 大正一五	一	五五五	二三五	
笑ひ蟲	田村白楊編 大正一〇（中學生叢書第三編）	一	五一七	四五三	
笑ふ人	ユーゴー著 宮原晃一郎譯 大正一一 六四九頁	一	三八九	四七	
		一	五〇六	一〇五	

		冊	函	號
わらべの寶	岩田忠一編 大正一四	一	〇二三	二七
倭蘭年表	オットモンエセ著 鮭山無懷子譯 三卷（國書刊行會本文明源流叢書第三ノ內 大正三）	三	四三	四る
割貸工場の經營管理に就て	松井清足 大正一三 六頁	一	三三七	三三五
割九々いらずの珠算	星伊策 大正一二	一	三四一	三九六
割附ト更紗	モトカヅ文様研究部編 大正一五	二	一七三	九一
割付の栞	山田孤舟編 大正一〇	一	四三三	五四
惡い仲間	ウラヂミル・コロレンコ著 布施延雄譯（世界名著文庫第一二編） 大正九	一	三八九	一一
ワルツ集（舞踊ノ新曲一）	成田爲三 大正一二	二	四〇九	六七
ヴルデの大青玉	木村信兒譯（世界短篇小說大系小國現代短篇集附錄作者不明傑作篇ノ內 大正一四）	五二〇		四五
ヴルテル・シユナツフの話	モウパッサン著 平野威馬雄譯（モウパッサン全集第一三卷ノ內 大正一一）	三九〇		四一
ワルト・ホヰツトマン	有島武郎（有島武郎全集第七卷ノ內 大正一三）	五三〇		七
ワルト・ホイツトマン訪問記	並に彼れの生涯と作品に對する考案 エドワード・カアペンター著 川崎備寛譯 大正八	一	三九一	二
ヴルレンシユタイン	シルレル著 關口存男譯（古典劇大系第一二卷獨逸篇 大正一五）	五三九		一
我	里見弴 大正八	一	三七七	一八
われから	海野昌平（ふたば集第三卷ノ內 大正一〇）	三九六		三
われから	樋口一葉（校訂一葉全集ノ內 三二版 明治四四）	七四		五六
我れ爾を救ふ	山中峯太郎 大正一一	三	〇〇〇	一六
我等と政治	鳴瀧養信 大正一三（青年叢書第一）	一	五一七	三三
我等何を爲すべき乎	トルストイ著 加藤一夫譯 大正一二	一	五〇三	一九二
同	（トルストイ全集第五卷ノ內 大正八）	三	九〇	三九
吾等何を學ぶべき乎	世界思潮研究會發行 大正一一	二	五〇五	三五
第一期	宇宙の話（淺野利三郎）			
第一編	文化の話（同）			
第二編	社會の話（納武津）			
第三編	哲學の話（松本悟朗）			
第四編	進化の話 生物篇（大久保秘彦）			
第五編	同 人類篇（同）			
第六編	遺傳の話（同）			
第七編	科學の話（弓家七郎）			
第八編	心理の話（淺野利三郎）			
第九編	化學の話（大久保秘彦）			
第一〇編	宗教の話（安島健）			
第一二編				
第二期	法制の話（宮下文雄）			
第一編	倫理の話（安島健）			
第二編	財政の話（小田格介）			
第三編	教育の話（淺野利三郎）			
第四編	美學の話（安島健）			
第五編	都市の話（弓家七郎）			
第六編	藝術の話（山田房吉）			
第七編	建築の話（大澤秀二郎）			
第九編	歷史の話（長谷川猶三郎）			
第一〇編	地理の話（西田卯八）			
第一二編				
我等何を求むるか	與謝野晶子 大正六	一	三六三	六五
我等の講壇より	日本組合基督教會編 大正一三（日本組合基督教會說教集第一輯）	一	五三三	一三
我等の希念する淨土教	友松圓諦 大正九	一	三九二	九〇
我等の句境	中塚直三 大正八	一	三三八	三三〇
我等の教壇	鷲山弟三郎編 大正一五	一	五三三	一七四
我等の劇（青年實演用）	（脚本集） 樋口紅陽 大正一三	一	五三三	二八六
我等の劇場	岸田國士 大正一五	一	五四七	一五三
我等の心	モウパッサン著 中村星湖譯（モウパッサン全集第八卷） 大正一〇	一	三九〇	四一
我らの主なる救主イエス・キリストの	新約聖書 附改譯引照 英國聖書協會發行 大正一五	一	五三三	二〇八
吾等の信念	大妻良馬 大正一五	一	五一〇	一八五
我等の眞の永生	山川智應 大正一二	一	三九三	五三七
我等の進路	渡邊小洋 大正九	一	三八七	一六〇
我等の進むべき道	守屋榮夫 大正一四	一	五三五	一三一
吾等の政治	占部百太郎 大正一五（綜合大學講座第一七卷）	一	五四八	五六
吾等の設計	ウキリアム・メレル・ヴオーリズ 大正一二	一	五〇七	一二四
われらの攝政宮	後藤武男 大正一四	一	五三三	七一
我等の祖先	中村德五郎 大正二	一	三四二	三七〇
我等の大地（科學ノ夜話一）	渡邊萬次郎 大正一五	一	五六四	八一
我等の東京	（第二回後藤子爵記念市長賞論文一） 東京市政調査會編 大正一四	一	五四六	三三
吾等の佛教常識（日本ノ文化一）	加藤美命 大正一二（人間叢書第七編）	一	五一五	三三
我等は如何にして自己を救ふべき乎	エピクテートス著 神谷譯 大正一一 中島	一	五〇三	一六〇
我等は何のために生くるや	トルストイ著 宮原晃一郎譯（トルストイ全集第八卷ノ內 大正八）		三九〇	三九

		冊	函	號
序編	自叙傳 否			
第三集	いかに生くべきか			
	救と道			
	幻影の殼			
	嗣子の手記			
	無宗教の宗教			
	南無阿彌陀佛とイエス			
	芽生えの新我			
	親鸞と更生			
第四集		一	三三五	二八三
我は斯く信ず	三並良 大正七	一	一五九	一五八
我は何ぞや	谷村金一 大正七	一	五一七	一五六
我れ世に勝てり	「改元」第一卷 島田清次郎 大正一二	一	三五八	四一
我れ世に敗れたり	島田清次郎 大正一三	一	雜四	九五
我等	同社發行 第五卷第一〇號（大正一二年一一月）ヨリ	一	三六〇	二六七
我等いかに生くべきか	相馬御風 大正四	一	五三五	八五
吾等如何に生くべきか	ウイリアム・モリス著 本間久雄譯 大正一四	一	五〇六	一
我等いかに生く可きか	高倉輝（高倉輝著作集第四輯） 大正一二	一	五一五	二六
我等が生活の日	アンドレーエフ著 昇曙夢譯（近代劇大系第一五卷露西亞篇三ノ內 大正一三）	五一五		二六イ
同	（近代劇大系第一五卷露西亞篇三ノ內 大正一四）	五〇〇		四〇
吾等死より醒むる時	イブセン著 秋田雨雀譯（イブセン全集第八卷ノ內 大正一一） 上卷 小牧近江等 大正一四	一	五三六	一〇四
我等世界に何を學ぶべきか		二	五六〇	一〇
我等叢書	我等社發行 大正一五			
第一册	マルクス、エンゲルス評傳（カール・カウツキー著 櫛田民藏等譯）			
第二册	勞働辯護論（トマス・ホッヂスキン著 細川嘉六譯）			

		冊	函	號
吾等民族の覺悟	佐藤鐵太郎（明治聖德記念學會紀要第四卷ノ內 大正四）	一	四五	一
我等も國防へ	元早稻田大學生軍事研究團編 大正一三	一	五三	一三五
ワレンシユタイン	シルレル著 新關良三譯（世界名著叢書第三編） 大正一一	一	五〇〇	五三
同 再版	大正一二	一	五〇〇	五三
和露文庫	安井知之祕 同刊行會發行 大正一五	四	五四九	八
第一編	寬政己酉年初懷紙（高井几董編）			
第二編	誹諧生駒堂（燈外編）			
第三編	青蘿發句集 附 水の月（栗本玉屑編）			
第四編	骨書（李雨編）			
倭論語の神託に現はれたる宗教思想の位置	加藤玄智（明治聖德記念學會紀要第三卷ノ內 大正四）	一四五		一
倭論語の本文批評的研究	加藤玄智（明治聖德記念學會紀要第四、五卷ノ內 大正四、五）	一四、五		一

		冊	函	號
椀久一世の物語	井原西鶴 二卷（新選繪入西鶴全集 驕樂篇第一卷ノ內 大正一一）	一〇	五〇五	四三
椀久浮世十界	貞享三 八枚（中村座貞享三年春狂言カ）	特	京	三五〇
椀久末の松山	都一中語物（文藝叢書第一二冊世話淨瑠璃名作集ノ內 大正三）	三四五		一ぬ
椀木地製作試驗	比留間重次郎（望月泰男）（農商務省山林業試驗報告第二三號ノ內 大正四）	一四、三		一三五
ヴン・ゴオグ	黑田重太郎 大正一〇（泰西名畫家傳第一）	一	五〇〇	一四
ヴン・ゴォホの手紙	ゴォホ著 木村莊八譯 大正四	一	三五七	一三
ワンダーフオゲル	池田林儀 大正一三	一	五三三	五一
ワンダ、ブック	（妖怪退治）紀太藤一譯註 大正四（英學生文庫第七編）	一	三七	三〇八
腕白のはじまり	水谷武（竹紫） 大正一一	一	五一七	三六
椀屋久兵衞	眞山青果 大正一二（表現叢書第六）	一	三八九	八五

帝國圖書館和漢圖書書名目錄 第四編 ナ―ワ 終

昭和十二年三月二十八日印刷
昭和十二年三月三十一日發行

帝國圖書館

印刷者 內閣印刷局

帝國憲法

明治二十二年二月十一日發布

明治二十三年十一月二十九日施行

509
33